GHQ/SCAP Records (RG 331, National Archives and Records Service)

Description of contents

(1) Box no. 3029

(2) Folder title/number: (21) (end)
09.060

(3) Date: Jan. 1948 - Aug. 1950

(4) Subject:

Classification	Type of record
9400	c

(5) Item description and comment:
Chugoku

(6) Reproduction: (Yes) No

(7) Film no. Sheet no.

(Compiled by *National Diet Library*)

法律行政課

廣管備ら発第一四八七號
昭和二十五年八月八日

廣島警察管区本部警備部長

中国地方民事部長
國警本部警ら交通課長
各管区本部警備部長
管内各縣警察隊長
殿

交通事故統計表送付について

當管内に於ける昭和二十五年六月中に發生したる交通事故を別表の通り取纏めたから御参考まで申(通)報する。

尚管内各縣警察隊長にありては執務上の参考にせられたい。

09060

法律行政課

廣管備ら発第一四八七號
昭和二十五年八月八日

廣島警察管区本部警備部長

中国地方民事部長
國警本部警ら交通課長
各管区本部警備部長
管内各縣警察隊長 殿

交通事故統計表送付について

當管内に於ける昭和二十五年六月中に發生したる交通事故を別表の通り取纏めたから、御参考まで申通し報する。

尚管内各縣警察隊長にあつては執務上の参考にせられたい。

09060

様式第49號

交通事故統計表

第一表 交通事故原因調（昭和25年6月分）

（A）車馬、電車

NRD+MP

（昭和　年　月　日報告）

事故原因者 / 原因	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	計
制動裝置不完全	2(1)	12(1)	1			4			19(2)
操向裝置不完全		2							2
燈火不完全	1	1							2
牛馬狂奔				1	2		1		4
滑走									
その他の車馬電車の欠陷	1	1							2
操縱未熟練	[1] 3(1)	22(2)	2	1		9		(1)	[1] 37(4)
酩酊操縱	2	[1] 6		1(1)		1			[1] 10(1)
假睡操縱		5							5
操縱者の必身欠陷					1	1			2
ハンドルたずな等操作不履行	[1]	1(1)				[1]			[2] 1(1)
最高速度制限違反	[1] [2]	3						1	[1] [2] 4
信號無視		1				2			3
左折不適當	1	3	1						4
右折不適當		(1)		1		1			2(1)
右側通行		3	1	[1]					[1] 4
通行區分違反		3				1			4
斜橫斷									
安全地帶通過、乘入									
他車の直前直後橫斷	[1]	3				1			[1] 4
轉回不適當		2		[1]					[1] 2
後退不適當		4			(1)				4(1)
併進						1			1
連續進行		[1] 1				1			[1] 2
追越不適當	1	12(2)				4			17(2)
踏切不注意		1				2			3
優先交通違反		1(1)	(1)			1			2(2)
廣路不注意			1						1
避讓不適當	(1)	2	1			1			4(1)
徐行違反	1	16(1)	1					1	

通行區分違反		3				1			4
斜横斷									
安全地帶通過、乘入									
他車の直前直後横斷	[1]	3				1			[1] 4
轉回不適當		2		[1]					[1] 2
後退不適當		4			(1)				4(1)
併進						1			1
連續進行		[1] 1				1			[1] 2
追越不適當	1	12(2)				4			17(2)
踏切不注意		1				2			3
優先交通違反		1(1)	(1)			1			2(2)
廣路不注意			1						1
避讓不適當	(1)	2	1			1			4(1)
徐行違反	1	16(1)	1					1	19(1)
停車駐車不適當	[1]	4	2	[1]					[2] 6
合圖不適當		5(3)	1						6(3)
積載不適當		4		1					5
けん引不適當									
扉の閉鎖不適當									
乘降未濟發車									
その他		4(2)	2	[2]		2		1	[2] 9(2)
計	[5] [1] 12(3)	[2] 122(14)	13(1)	[5] 5(1)	3(1)	[1] 32	1	3(1)	[13] [1] 191(21)

（B） 人

原因＼事故原因者	歩行者	乘客	その他の人
左側通行	2(1)		
信號無視			
車道通行	2(2)		
横斷歩道外横斷	1		
斜横斷	4(1)		
車の直前直後横斷	[1] [1] 9(10)		4(2)
踏切不注意	3		
飛乘		1(1)	
飛降		(1)	
車体外乘車	1(1)	1	
路上作業			
路上遊戯			[1] 6(1)
酩酊徘徊			
必身・欠陥	1(1)		
その他	(1)	(2)	2(1)
計	[1] [1] 23(17)	2(4)	[1] 12(4)

（C） 物件その他

放置物件	
障害物不照明	(1)
道路の欠陥	7(1)
その他	
計	7(2)

[ ] □形は占領軍干係の事故を示し □形は從たる原因を表はす

( ) は邦人干係の從たる原因を表はす.

備考

1. 電車とは、軌道車をいう。以下同じ。
2. 乘用自動車、貨物自動車には小型を含む。以下同じ。
3. 乘客とは、車馬又は軌道車の乘客に限る。以下同じ。
4. 事故一件につき二以上の原因があるときは、主たる原因一を選び該当欄に記入し、從たる原因は、該当欄にその欄の外数として括弧（ ）して記入する。從つて本表の主たる原因の総計は、第三表の事故件数と一致する。
主たる原因とは、当該事故発生に対し最も重大な過失を指し、事故一件につき一原因とするものである。なお、当該事故当事者の過失が同程度か又は不明の場合は、被害の小なる側の主たる原因をとる。

交通事故統計表

第二表　交通事故損害調　（昭和25年　6月分）

（様式第50號）　　NRP + MP　　（昭和　年　月　日報告）

損害を受けたもの ＼ 損害を與えたもの		乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	物件	計
乘用自動車	死者											
	傷者		1								5	6
	物的損害		22350				300			500000	[5000] 81.000	[5000] 603.650
貨物自動車	死者										3	3
	傷者		5		2					4	13	24
	物的損害	15.750	[700] 28.900	2,200	2800		300		5.500	716.000	1.626.900	[700] 2.448.350
乘合自動車	死者											
	傷者		4						7		2	13
	物的損害		98.800						100.000	420.000	200.000	818.800
その他の自動車	死者				1							1
	傷者		1		1							2
	物的損害		1.500		1000							2.500
荷車	死者											
	傷者	1 [3000]	3						1			5
	物的損害		6.500		[1.200]					-		[4.200] 6.500
自轉車	死者		1							3	3	7
	傷者	3 [10000] 1.000	22	4		1	2		3	2		37
	物的損害		27.880	2.000		200			750	12.000	500	[1.000] 44.330
その他の車馬	死者											
	傷者											
	物的損害											
電車	死者											
	傷者		1									1

その他の自動車	傷者														
	物的損害		1,500		1,000										2,500
荷車	死者														
	傷者	1	3								1				5
	物的損害	[3000]	6,500		[1,200]										[4,200] 6,500
自轉車	死者		1									3	3		7
	傷者	3	22	4		1	2		3		2				37
	物的損害	[10000] 1000	27880	2,000		200			750		12,000	500			[1,000] 44330
その他の車馬	死者														
	傷者														
	物的損害														
電車	死者														
	傷者		1												1
	物的損害		35,261				400								35,661
汽車	死者										2				2
	傷者	1				1									2
	物的損害														
歩行者	死者	1	1	1	[1]	1					3				[1] 7
	傷者	[2] 6	29	6	3		6		2		3				[2] 55
	物的損害		7,000	500											7,500
乘客	死者		3	1	1										5
	傷者	1	3	1					1						6
	物的損害		10,050												10,050
その他の人	死者		5	2											7
	傷者	[2] 1	19	2				3			1				[2] 26
	物的損害														
物件	物的損害	1000	[24,757] 42,600	20,000	[12,900] 20,500	3,500									[57,657] 447,100
計	死者	1	10	4	[1] 2	1					8	6			[1] 32
	傷者	[4] 13	88	13	6	2	8	3	14		10	56			[4] 213
	物的損害	[4000] 17,750	[45,457] 69,084	24,700	[14,100] 23,800	3,700	1,000		106,250		1,668,000	[5000] 1,908,400			[68,557] 4,424,441

備考

1、汽車とは、軌道車以外の軌道車又は鉄道をいう。以下同じ。
2、損害を受けたものの損害と、損害を與えたものと交叉した枠に記入する。
3、車馬又は電車の原因によつてその乘客が死傷した場合は、それぞれ損害を受けたものの欄の車馬又は電車の枠に記入し、乘客の原因によつてその乘客が死傷した場合は、同欄の乘客の枠に記入する。
2、及び3、の例乘合自動車と貨物自動車とが衝突して、乘合自動車の乘客が5人死亡し、貨物自動車の助手が1人死亡した場合及び車体外乘車の電車の乘客2人墜落して死亡した場合の記入例は上に示した通りである。
4、物的損害は時價により金額を記入する。
5、歩行者、車馬及び電車等が崖下に墜落した等の場合の事故によるものは、損害を與えたものの欄の物件によるものとして記入する。

第三表　**交通事故件數調**（和昭 25年 6月分）　NRP+

事故關係者 ＼ 事故關係者	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	
乘用自動車	(1)	(2) 正 3	(3)	(4)	(5) 正 1	(6) 正 4	(7)	(8)	
貨物自動車		(14) 正 7	(15) 2	(16) 2	(17) 4	(18) 25	(19)	(20) 10	
乘合自動車			(26)	(27)	(28)	(29) 4	(30)	(31) 1	
その他の自動車				(37) 1	(38) 正	(39)	(40)	(41)	
荷車					(47)	(48) 1	(49)	(50) 1	
自轉車						(56) 2	(57)	(58) 3	
その他の車馬							(64)	(65)	
電車								(71)	
汽車									
歩行者									
乘客									
その他の人									
物件									
事故件數								正丁 235	

備考　斜線を施した部分は汽車對汽車の事故は本統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故

(昭和 25年 6月分) NRP+MP 縣 (昭和 年 月 日報告)

他の車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	歩行者	乘客	その他の人	物件	事故關係者別計
)	(5) [1] 1	(6) [1] 4	(7)	(8)	(9) 1	(10) [2] 6	(11) 1	(12) [2] 1	(13) [1] 3	[8] 20
6) 2	(17) 4	(18) 25	(19)	(20) 10	(21) 4	(22) 28	(23) 4	(24) 18	(25) [1] 51	[3] 158
7)	(28)	(29) 4	(30)	(31) 1	(32)	(33) 7	(34) 2	(35) 4	(36) 2	22
7) 1	(38) [1]	(39)	(40)	(41)	(42)	(43) [1] 2	(44) 1	(45)	(46) [3] 2	[5] 8
	(47)	(48) 1	(49)	(50) 1	(51)	(52) 2	(53)	(54)	(55) 1	[2] 10
		(56) 2	(57)	(58) 3	(59) 4	(60) 5	(61)	(62)	(63) 3	[1] 51
			(64)	(65)	(66)	(67)	(68)	(69) 1	(70)	1
				(71)	(72)	(73) 2	(74) 1	(75)	(76) 1	19
						(77) 6	(78)	(79) 1	(80)	16
						(81)	(82)	(83)	(84)	[3] 58
							(85)	(86)	(87)	9
								(88)	(89)	[2] 25
										[5] 63
										[29] 460

[15] 235

事故は本統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故は考へられないからである。

第四表 車馬電車の交通事故發生時の狀況調（昭和 25 年 6 月分） NRD

車馬電車 ＼ 事故發生時の狀況		時間 0～6	6～9	9～11	11～13	13～15	15～17	17～19	19～21	21～24	明暗 晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	天候 晴	曇	霧	雨
自動車	乘用自動車	3	[1] 1	[1]	1	[1] 1	3	[1]	[1] 1	2	[5] 7	1		4	[5] 10	1		
自動車	貨物自動車	[1] 10	16	12	[1] 20	16	19	14	8	7	[1] 105	3	3	[1] 11	[2] 80	26	1	
自動車	乘合自動車		2	3	1		3	3	1		13				8	4		
自動車	その他の自動車		[2]		[2] 1	2		1		[1] 1	[4] 4		[1]	1	[2]	[2] 5		
自動車	小計	[1] 13	[3] 19	[1] 15	[3] 23	[1] 19	25	[1] 18	[1] 10	[1] 10	[10] 129	4	[1] 3	[1] 16	[7] 98	[4] 36	1	
その他の車馬	荷車			1		1				1	2		1		3			
その他の車馬	自轉車	1	4	[1] 5	6	3	5	4	4		[1] 28	2		2	[1] 23	8		
その他の車馬	その他				1						1				1			
その他の車馬	小計	1	4	[1] 6	7	4	5	4	4	1	[1] 31	2	1	2	[1] 27	8		1
電車			1			1		1			3				2	1		
計		[1] 14	[3] 24	[2] 21	[3] 30	[1] 24	30	[1] 23	[1] 14	[1] 11	[11] 163	6	[1] 4	[1] 18	[10] 127	[2] 45	1	

備考　車馬又は電車の關係する事故件數（第三表の車馬及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄

（昭和 25 年 6 月分） NRD+MD 縣（昭和 年 月 日報告）

	明暗				天候					場所				路面の狀況							
										市街地		非市街地		乾燥		濕潤		泥濘	積雪	凍結	
1	晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	晴	曇	霧	雨	雪	交通輻輳	交通閑散	交通輻輳	交通閑散	鋪裝	非鋪裝	鋪裝	非鋪裝			鋪裝	非鋪裝
24																					
	[5]				[5]					[3]	[1]		[1]	[4]	[1]						
2	7	1		4	10	1		1		4	5		3	7	4		1				
	[1]			[1]	[2]					[1]	[1]			[2]							
7	105	3	3	11	80	26	1	15		25	22	12	63	35	62	10	14	1			
	13				8	4		1		5	1	1	6	6	6		1				
[1]	[4]		[1]		[2]	[2]		[1]		[1]	[1]		[3]	[2]	[2]		[1]				
1	4			1		5					1		4	1	3		1				
[1]	[10]		[1]	[1]	[7]	[4]		[1]		[5]	[3]		[4]	[8]	[3]		[1]				
10	129	4	3	16	98	36	1	17		34	29	13	76	49	75	10	17	1			
1	2		1		3							1	2		3						
	[1]				[1]					[1]				[1]							
	28	2		2	23	8		1		10	8	4	10	13	17	1	1				
	1				1						1				1						
1	[1] 31	2	1	2	[1] 27	8		1		[1] 10	9	5	12	[1] 13	21	1	1				
	3				2	1				1	2			1	2						
[1]	[11]		[1]	[1]	[10]	[2]		[1]		[6]	[3]		[4]	[9]	[3]		[1]				
11	163	6	4	18	127	45	1	18		45	40	18	88	63	98	11	18	1			

（人馬及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄に記入する。

交通事故統計表

第五表　交通取締處分調　（昭和　年　月分）

様式第53號　　ARP+MP　　（昭和　年　月　日報告）

處分別 ＼ 被處分者別		自動車 處分事由 交通事故	自動車 處分事由 取締法違反道路交通	自動車 處分事由 法違反道路運送	自動車 處分事由 給規則違反石油製品配	自動車 處分事由 法令違反その他の	自動車 處分事由 その他	自動車 處分事由 小計	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	歩行者	その他の人	計
送致	罰金以上	95	877	46	5	12	12	1047	35	1782	351		2	73	3290
送致	拘留														
送致	科料		98	2				100	18	346	3		2	12	481
送致	小計	95	975	48	5	12	12	1147	53	2128	354		4	85	3771
設諭		42	5824	40		27	54	5987	2658	18022	1545	144	44474	7132	79962
運轉免許の行政處分	取消	3						3							
運轉免許の行政處分	停止 條件のない處分	57						57							
運轉免許の行政處分	停止 停止條件附處分	1	1					2							
運轉免許の行政處分	停止 解除條件附處分	4						4							
運轉免許の行政處分	小計	65	1					66							

備考　1. それぞれの件数を記入する。
2. 交通事故と法令違反とが競合するときは交通事故の欄に記入する。
3. 送致は送致摘要簿による送致見込件数を記入する。

別記様式(一)

交通事故による死傷者の職業別及性別調（昭和25年 6月分）N＋M 縣（昭和 年 月 日報告）

職業別 ＼ 死傷別・性別		輕傷			重傷			死亡			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
事務的職業	一般事務者	9		9	4		4	1		1	14		14
	經營者、管理人、支配人												
	一般官公吏	6	2	8	1		1	1		1	8	2	10
	警察官吏												
自由職業	教育者	1		1							1		1
	醫療、保健的職業	1		1							1		1
	その他	1		1				2		2	3		3
交通的職業	運輸的職業	22		22	5		5	1		1	28		28
	通信的職業												
農林技術者作業者		4	3	7	4		4	4		4	12	3	15
水產技術者作業者													
鑛山技術者作業者													
工業技術者作業者		16		16	1		1	3		3	20		20
商的職業		11	4	15	2	1	3				13	5	18
家事使用人		1		1	1	1	2				2	1	3
その他の職業		(1)14	3	(1)17	1		1	1		1	(1)16	3	(1)19
無職者		(1)24	24	(1)48	(1)5	9	(1)14	3	(1)12	(1)15	(1)32	(1)45	(2)77

通的業	通信的職業														
	農林技術者作業者	4	3	7	4		4	4		4	12	3	15		
	水産技術者作業者														
	鑛山技術者作業者														
	工業技術者作業者	16		16	1		1	3		3	20		20		
	商的職業	11	4	15	2	1	3				13	5	18		
	家事使用人	1		1	1	1	2				2	1	3		
	その他の職業	(1)14	3	(1)17	1		1	1		1	(1)16	3	(1)19		
	無職者	(2)24	24	(2)48	(1)5	9	(2)14	3	(1)2	(1)5	(3)32	(1)45	(3)77		
學生	大學高等專門學校	1	1	2				1		1	2	1	3		
生徒	中學校（新制）	2		2	2	4	6	1		1	5	4	9		
	小學校	(1)14	4	(1)18	4		4	1	1	2	(1)19	5	(1)24		
外國人	進駐軍將兵														
	進駐軍所屬者														
	その他														
合計		(1)127	41	(3)168	(1)30	15	(2)45	19	(1)13	(3)32	(4)176	(1)69	(4)245		

（備　考）

(1) 一人が二種以上の職業を有する場合は主たる職業に依る。主たる職業とは、從事する時間のより多い職業をいふ。

(2)「一般事務者」中には例へば建築會社の社員であつて建築の設計企畫又は監督等をする者であつても、その者がより多くの時間一般の事務に從事する場合等を含むものであり、之ら「工業技術者、作業者」としない。

(3)「一般官吏」中には、官公吏である醫療、保健、運輸、通信、農林、水産、鑛山、工業其の他の技官技師を含まない。之らの者は「醫療保健的職業」「運輸的職業」「通信的職業」「農林技術者作業者」「水産〃」「鑛山〃」「工業〃」等とする。但し之らの者がより多くの時間一般事務に專從する場合には「一般官公吏」とする。

(4)「敎育者」中には官公吏である敎育者を含む、この者を「一般官吏」としない。

(5)「自由職業」中の「其の他」には研究者、辨護士、計理士、茶道敎授、作家、畫家等を含む。

(6)「商的職業」中には物品販賣作業者、店員、仲買人、集金人、接客者たる給仕人、社交ダンサー、理髮師を含む。

(7)「無職者」中には學生々徒を含まない。

(8) 輕傷とは全治一ケ月以下をいゝ重傷とはそれ以上を云ふ。

別記様式（二）

交通事故による死傷者の年令別及性別調（昭和25年6月分）WHM縣（昭和　年　月　日報告）

年令別	加害者別 / 性別 / 死傷別	乘用自動車 男	乘用自動車 女	貨物自動車 男	貨物自動車 女	乘合自動車 男	乘合自動車 女	その他の自動車 男	その他の自動車 女	荷車 男	荷車 女	自轉車 男	自轉車 女	その他の車馬 男	その他の車馬 女	電車 男	電車 女	汽車 男	汽車 女	物件 男	物件 女	計 男	計 女
5才以下	輕傷	(1)1	1	5	4	1	1					1						1				(1)9	6
	重傷	(1)		2	1						1							1				(1)3	2
	死亡	1		2			2				1									1		3	4
6才—10才	輕傷	(1)2		10	5	1		1					1									(1)14	6
	重傷		1	5	1														1			5	3
	死亡				4	1																1	4
11才—15才	輕傷			4		3	1															7	1
	重傷			2	1														3	1		3	4
	死亡			1																		1	
16才—20才	輕傷	1		5	1	1	1	2		1						2	1	1		5	4	18	7
	重傷																		1				1
	死亡							1												1	1	2	1
21才—25才	輕傷	2		4	1	1		1				1	1					1		12	1	23	2
	重傷			1	1								1			1				4		6	2
	死亡			1																		1	
26才—30才	輕傷			2		1		1					1							6	1	10	2
	重傷										1			1								1	1
	死亡			1																		1	
31才—	輕傷		1	7	4			1								2		1		9		20	5
	重傷			1												2				2		5	

20才	死亡								1												1	1	2	1			
21才—25才	輕傷	2		4	1	1		1				1		1				1		12	1	23	2			
	重傷			1	1								1			1				4		6	2			
	死亡			1				1														1				
26才—30才	輕傷			2		1		1					1							6	1	10	2			
	重傷											1			1							1	1			
	死亡			1																		1				
31才—40才	輕傷		1	7	4			1								2		1		9		20	5			
	重傷			1												2				2		5				
	死亡																	1				1				
41才—50才	輕傷	(1)2	1	9			2						1			1				3		(1)15	4			
	重傷			2																1		3				
	死亡			1					(1)											1		2	(1)			
51才—60才	輕傷			2	1											1	1	1		4		7	3			
	重傷			2														1				2	1			
	死亡					1		1											2	1	1	5	6			
61才—70才	輕傷	1			2								1			1	1					2	4			
	重傷																			1	1	1	1			
	死亡																	2	1			2	1			
70才以上	輕傷			1	1															1		2	1			
	重傷			1																		1				
	死亡																		2				2			
計	輕傷	(3)9	3	49	19	8	5	6		1		2	4	1	1	7	3	4		40	6	(3)127	41			
	重傷	(1)	1	16	4						1	1	1		1	3	1	1	5	9	1	(1)30	15			
	死亡	1		6	4	2	2	2	(1)		1							5	3	3	3	19	(1)3			

備考、輕傷とは全治一ケ月以下をいい重傷とはそれ以上を云ふ。

交通事故統計表

様式第49號

第一表 交通事故原因調（昭和25年6月分）

NRP （昭和　年　月　日報告）

（A）車馬、電車

事故原因者 / 原因	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	計
制動裝置不完全		7(1)	1						8(1)
操向裝置不完全		2							2
燈火不完全									
牛馬狂奔				1					1
滑走									
その他の車馬電車の欠陷									
操縱未熟練		11	2			3			16
酩酊操縱		2		1(1)					3(1)
假睡操縱		2							2
操縱者の必身欠陷					1				1
ハンドルたずな等操作不履行		1							1
最高速度制限違反		1							1
信號無視									
左折不適當		1							1
右折不適當				1		1			2
右側通行		1		[1]					[1] 1
通行區分違反									
斜橫斷									
安全地帶通過、乘入									
他車の直前直後橫斷	[1]								[1]
轉回不適當		2							2
後退不適當		1							1
併進						1			1
連續進行									
追越不適當		7							7
踏切不注意						1			1
優先交通違反									
廣路不注意									
避讓不適當		1	1						2

通行區分違反									
斜横断									
安全地帶通過、乘入									
他車の直前直後横断	[1]								[1]
轉回不適當		2							2
後退不適當		1							1
併進						1			1
連續進行									
追越不適當		7							7
踏切不注意						1			1
優先交通違反									
廣路不注意									
避讓不適當		1	1						2
徐行違反		7	1						8
停車駐車不適當		2	1						3
合圖不適當		1(3)	1						2(3)
積載不適當		1							1
けん引不適當									
扉の閉鎖不適當									
乘降未濟發車									
その他		2	2						4
計	[1]	52(4)	9	[1] 3(1)	1	6			[2] 7(5)

(B) 人

原因＼事故原因者	歩行者	乘客	その他の人
左側通行			
信號無視			
車道通行			
横断歩道外横断			
斜横断	1(1)		
車の直前直後横断	2(3)		2(1)
踏切不注意			
飛乘		(1)	
飛降			
車体外乘車	1		
路上作業			
路上遊戲			[1] 3(1)
酩酊徘徊			
必身欠陷			
その他	(1)	(1)	2
計	4(5)	(2)	[1] 7(2)

(C) 物件その他

放置物件	
障害物不照明	
道路の欠陷	6
その他	
計	6

[ ] 形は占領軍干係の事故を示す

( ) 形は邦人干係の事故の從たる原因を表はす.

備考

1. 電車とは、軌道車をいう。以下同じ。
2. 乘用自動車、貨物自動車には小型を含む。以下同じ。
3. 乘客とは、車馬又は軌道車の乘客に限る。以下同じ。
4. 事故一件につき二以上の原因があるときは、主たる原因一を選び該当欄に記入し、從たる原因は、該当欄にその欄の外數として括弧( )して記入する。從つて本表の主たる原因の總計は、第三表の事故件數と一致する。
   主たる原因とは、当該事故発生に対し最も重大な過失を指し、事故一件につき一原因とするものである。なお、当該事故当事者の過失が同程度か又は不明の場合は、被害の小なる側の主たる原因をとる。

交通事故統計表

第二表　交通事故損害調　（昭和 25年 6月分）

（様式第50號）　　（昭和　年　月　日報告）

N.R.P

損害を受けたもの ＼ 損害を與えたもの		乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	物件	計
乘用自動車	死者											
	傷者										4	4
	物的損害										50,000	50,000
貨物自動車	死者										1	1
	傷者		1		1					1	41	44
	物的損害		60,500	2,200	300					709,000	1,580,300	2,343,300
乘合自動車	死者											
	傷者		4								2	6
	物的損害		18,800								249,000	268,800
その他の自動車	死者											
	傷者											
	物的損害											
荷車	死者											
	傷者		1									1
	物的損害		6,500		[1200]							[1,200] 2,500
自轉車	死者		1							1	1	3
	傷者		8	1								9
	物的損害		5,200							1000	500	6,700
その他の車馬	死者											
	傷者											
	物的損害											
	死者											

	物的損害												
荷車	死者												
	傷者		1										1
	物的損害		6.500		[1200]								[1.200] 2.500
自轉車	死者		1								1	1	3
	傷者		8	1									9
	物的損害		5.200								1000	500	6.700
その他の車馬	死者												
	傷者												
	物的損害												
電車	死者												
	傷者												
	物的損害												
汽車	死者												
	傷者												
	物的損害												
歩行者	死者		1	1		1							3
	傷者	1	10	2	2								15
	物的損害												
乘客	死者		1	1									2
	傷者		1	1									2
	物的損害												
その他の人	死者		2	2									4
	傷者	[2]	7	2							1		[2] 10
	物的損害												
物件	物的損害		34.700	20.000	20.000								74.700
計	死者		5	4		1					1	2	13
	傷者	[2] 1	32	6	3						2	47	[2] 91
	物的損害		175.700	22.250	[1210] 20.500						701.000	1.830.800	[1200] 2.750.000

備考

1、汽車とは、軌道車以外の軌道車又は鉄道をいう。以下同じ。
2、損害を受けたものの損害と、損害を與えたものと交叉した枠に記入する。
3、車馬又は電車の原因によつてその乘客が死傷した場合は、それぞれ損害を受けたものの欄の車馬又は電車の枠に記入し、乘客の原因によつてその乘客が死傷した場合は、同欄の乘客の枠に記入する。
2、及び3、の例乘合自動車と貨物自動車とが衝突して、乘合自動車の乘客が5人死亡し、貨物自動車の助手が1人死亡した場合及び車体外乘車の電車の乘客2人墜落して死亡した場合の記入例は上に示した通りである。
4、物的損害は時價により金額を記入する。
5、歩行者、車馬及び電車等が崖下に墜落した等の場合の事故によるものは、損害を與えたものの欄の物件によるものとして記入する。

第三表　**交通事故件數調**（和昭 25 年 6 月分）

事故關係者 ＼ 事故關係者	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車
乘用自動車	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
貨物自動車		(14) 4	(15) 1	(16)	(17) 2	(18) 9	(19)	(20)	(21)
乘合自動車			(26)	(27)	(28)	(29) 1	(30)	(31)	(32) 1
その他の自動車				(37)	(38) 21	(39)	(40)	(41)	(42)
荷車					(47)	(48)	(49)	(50)	(51)
自轉車						(56)	(57)	(58)	(59)
その他の車馬							(64)	(65)	(66) 1
電車								(71)	(72)
汽車									
歩行者									
乘客									
その他の人									
物件									
事故件數									

[3] 88

備考　斜線を施した部分は汽車對汽車の事故は本統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故は考へ

和昭 25 年 6 月分)　　縣　　(昭和　年　月　日報告)

荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	歩行者	乘客	その他の人	物件	事故關係者別計
(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	
					1		[2]		[2] 1
(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	
2	9			1	18	2	7	32	68
(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	
	1				3	2	4	2	13
(38)	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	
[1]					1			2	[1] 3
(47)	(48)	(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	
					1				[1] 3
	(56)	(57)	(58)	(59)	(60)	(61)	(62)	(63)	
				1				1	12
		(64)	(65)	(66)	(67)	(68)	(69)	(70)	
			(71)	(72)	(73)	(74)	(75)	(76)	
					(77)	(78)	(79)	(80)	
							1		3
					(81)	(82)	(83)	(84)	
									16
						(85)	(86)	(87)	
									4
							(88)	(89)	
									[2] 12
									37
[3] 88									[6] 172

統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故は考へられないからである。

第四表　車馬電車の交通事故發生時の狀況調（昭和 25 年 6 月分）

事故發生時の狀況 ＼ 車馬電車		時間 0～6	6～9	9～11	11～13	13～15	15～17	17～19	19～21	21～24	明暗 晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	天候 晴	曇	霧	雨
自動車	乘用自動車			〔1〕							〔1〕				〔1〕			
	貨物自動車	2	3	9	9	9	6	7	3	4	45		1	6	36	11		5
	乘合自動車		1	2	1		2	3			9				5	4		
	その他の自動車		〔1〕			1		1		1	〔1〕 2			1	〔1〕	3		
	小計	2	〔1〕 4	〔1〕 11	10	10	8	11	3	5	〔2〕 56		1	7	〔2〕 41	18		5
その他の車馬	荷車					1					1				1			
	自轉車		1	2		1		2			6				5	1		
	その他																	
	小計		1	2		2		2			7				6	1		
電車																		
計		2	〔1〕 5	〔1〕 13	10	12	8	13	3	5	〔2〕 63		1	7	〔2〕 47	19		5

備　考　　車馬又は電車の關係する事故件數（第三表の車馬及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄に記

(昭和 25 年 6 月分)　　NRP　　縣　　年　　月　　日報告)

明暗				天候					所場				路面の狀況							
									市街地		非市街地		乾燥		濕潤		泥濘	積雪	凍結	
晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	晴	曇	霧	雨	雪	交通輻輳	交通閑散	交通輻輳	交通閑散	鋪裝	非鋪裝	鋪裝	非鋪裝			鋪裝	非鋪裝
(1)				(1)						(1)			(1)							
45		1	6	36	11		5		1		8	43	8	34		9	1			
9				5	4				2		1	6	3	6						
(1) 2			1	(1)	3							(1) 3	(1)	2		1				
(2) 56		1	7	(2) 41	18		5		3	(1)	9	(1) 52	(2) 11	42		10	1			
1				1							1			1						
6				5	1					1	1	4	1	5						
7				6	1					1	2	4	1	6						
(2) 63		1	7	(2) 47	19		5		3	(1) 1	11	(1) 56	(2) 12	48		10	1			

及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄に記入する。

交通事故統計表

第五表　交通取締處分調　（昭和　年　月分）

（昭和　年　月　日報告）

様式第53號　NRP

被處分者別 / 處分別		自動車 處分事由 交通事故	取締法違反 道路交通	法違反 道路運送	給規則違反 石油製品配	法令違反 その他の	その他	小計	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	歩行者	その他の人	計
送致	罰金以上	33	382	26	1		2	444	19	438	24			25	950
	拘留														
	科料		40					40	5	42	2				89
	小計	33	422	26	1		2	484	24	480	26			25	1039
說諭		9	2629	9		9	4	2660	624	4704	580		8089	2360	19.017
運轉免許の行政處分	取消	2						2							
	停止 條件のない處分	20						20							
	停止 停止條件附處分	1						1							
	停止 解除條件附處分	4						4							
	小計	27						27							

備考
1. それぞれの件数を記入する。
2. 交通事故と法令違反とが競合するときは交通事故の欄に記入する。
3. 送致は送致摘要簿による送致見込件数を記入する。

別記様式(一)

交通事故による死傷者の職業別及性別調（昭和2年 6月分） NRP縣（昭和 年 月 日報告）

職業別 ＼ 死傷別・性別		輕傷			重傷			死亡			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
事務的職業	一般事務者	4		4	1		1				5		5
	經營者、管理人、支配人												
	一般官公吏	2	2	4							2	2	4
	警察官吏												
自由職業	教育者												
	醫療、保健的職業	1		1							1		1
	その他												
交通的職業	運輸的職業	9		9	5		5	1		1	15		15
	通信的職業												
農林技術者作業者		4	3	7	1		1	2		2	7	3	10
水產技術者作業者													
鑛山技術者作業者													
工業技術者作業者		8		8	1		1				9		9
商的職業		8		8	1		1				9		9
家事使用人						1	1					1	1
その他の職業		9		9	1		1				10		10
無職業者		[illegible]		[illegible]	[illegible]		[illegible]		1	1	[illegible]		[illegible]

的業	通信的職業												
農林技術者	作業者	4	3	7	1		1	2		2	7	3	10
水産技術者	作業者												
鑛山技術者	作業者												
工業技術者	作業者	8		8	1		1				9		9
商的職業		8		8	1		1				9		9
家事使用人						1	1					1	1
その他の職業		9		9	1		1				10		10
無職者		[1]7	9	[1]16	[1]3	2	[1]5		6	6	[2]10	17	[2]27
學生	大學高等專門學校							1		1	1		1
	中學校（新制）				1		1	1		1	2		2
生徒	小學校	6		6	2		2	1	1	2	9	1	10
外國人	進駐軍將兵												
	進駐軍所屬者												
	その他												
合計		[1]58	14	[1]72	[1]16	3	[1]19	6	7	13	[2]80	24	[2]104

（備考）

(1) 一人が二種以上の職業を有する場合は主たる職業に依る。主たる職業とは、從事する時間のより多い職業をいふ。

(2)「一般事務者」中には例へば建築會社の社員であつて建築の設計企畫又は監督等をする者であつても、その者がより多くの時間一般の事務に從事する場合等を含むものであり、之ら「工業技術者、作業者」としない。

(3)「一般官吏」中には、官公吏である醫療、保健、運輸、通信、農林、水產、鑛山、工業其の他の技官技師を含まない。之らの者は「醫療保健的職業」「運輸的職業」「通信的職業」「農林技術者作業者」「水產〃」「鑛山〃」「工業〃」等とする。但し之らの者がより多くの時間一般事務に專從する場合には「一般官公吏」とする。

(4)「敎育者」中には官公吏である敎育者を含む、この者を「一般官吏」としない。

(5)「自由職業」中の「其の他」には研究者、辨護士、計理士、茶道敎授、作家、畫家等を含む。

(6)「商的職業」中には物品販賣作業者、店員、仲買人、集金人、接客者たる給仕人、社交ダンサー、理髮師を含む。

(7)「無職者」中には學生々徒を含まない。

(8) 輕傷とは全治一ケ月以下をいゝ重傷とはそれ以上を云ふ。

別記様式（二）

交通事故による死傷者の年令別及性別調（昭和 25年 6月分）NRP縣（昭和　年　月　日報告）

年令別	加害者別 / 死傷別 / 性別	乘用自動車 男	乘用自動車 女	貨物自動車 男	貨物自動車 女	乘合自動車 男	乘合自動車 女	その他の自動車 男	その他の自動車 女	荷車 男	荷車 女	自轉車 男	自轉車 女	その他の車馬 男	その他の車馬 女	電車 男	電車 女	汽車 男	汽車 女	物件 男	物件 女	計 男	計 女
5才以下	輕傷	(1)		2	2	1	1															3(1)	3
	重傷	(1)		2																		(1)2	
	死亡						2				1												3
6才—10才	輕傷			4		1		1														6	
	重傷			2															1			2	1
	死亡				3	1																1	3
11才—15才	輕傷			1																		1	
	重傷			1																1		2	
	死亡			1																		1	
16才—20才	輕傷			1		1														5	4	7	4
	重傷																		1				1
	死亡																			1	1	1	1
21才—25才	輕傷	1		1				1												11	1	14	1
	重傷			1																4		5	
	死亡																						
26才—30才	輕傷					1		1												5	1	7	1
	重傷																						
	死亡			1																		1	
31	輕傷			3	1															4		8	1

20才	重傷																			1					1				
	死亡																				1	1	1	1					
21才—25才	輕傷	1		1				1													11	1	14	1					
	重傷			1																	4		5						
	死亡																												
26才—30才	輕傷					1		1													5	1	7	1					
	重傷																												
	死亡			1																			1						
31才—40才	輕傷			3	1																5		8	1					
	重傷			1																			1						
	死亡																			1			1						
41才—50才	輕傷			4			1														2		6	1					
	重傷			2																	1		3						
	死亡																												
51才—60才	輕傷																				4		4						
	重傷																												
	死亡					1																	1						
61才—70才	輕傷				2																			2					
	重傷																				1	1	1	1					
	死亡																												
70才以上	輕傷			1	1																1		2	1					
	重傷																												
	死亡																												
計	輕傷	(1)1		17	6	4	2	3													33	6	(1)58	14					
	重傷	(1)		9																2	7	1	(1)16	3					
	死亡			2	3	2	2					1								1		1	1	6	7				

備考、輕傷とは全治一ケ月以下をいい重傷とはそれ以上を云ふ。

交通事故統計表

様式第49號

第一表 交通事故原因調（昭和25年6月分）

（A）車馬、電車　　MP　　（昭和　年　月　日報告）

原因＼事故原因者	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	計
制動裝置不完全	2(1)	5				4			11(1)
操向裝置不完全									
燈火不完全	1	1							2
牛馬狂奔					2		1		3
滑走									
その他の車馬電車の欠陷	1	1							2
操縱未熟練	[1] 3(0)	11(2)		1		6		(1)	[1] 21(4)
酩酊操縱	2	[1] 4				1			[1] 7
假睡操縱		3							3
操縱者の必身欠陷						1			1
ハンドルたずな等操作不履行	[1]	(1)				[1]			[2] (1)
最高速度制限違反	[1] [1]	2						1	[1][1] 3
信號無視		1				2			3
左折不適當	1	2	1						4
右折不適當		(1)							(1)
右側通行		2	1						3
通行區分違反		3				1			4
斜橫斷									
安全地帶通過、乘入									
他車の直前直後橫斷		3				1			4
轉回不適當				[1]					[1]
後退不適當		3			(1)				3(1)
併進									
連續進行		[1] 1				1			[1] 2
追越不適當	1	5(2)				4			10(2)
踏切不注意		1				1			2
優先交通違反		1(1)	(1)			1			2(2)
廣路不注意			1						1
避讓不適當	(1)	1				1			2(1)

通行區分違反		3				1			4
斜横斷									
安全地帶通過、乘入									
他車の直前直後横斷		3				1			4
轉回不適當				[1]					[1]
後退不適當		3			(1)				3(1)
併進									
連續進行		[1] 1				1			[1] 2
追越不適當	1	5(2)				4			10(2)
踏切不注意		1				1			2
優先交通違反		1(1)	(1)			1			2(2)
廣路不注意			1						1
避讓不適當	(1)	1				1			2(1)
徐行違反	1	9(1)						1	11(1)
停車駐車不適當	[1]	2	1	[1]					[2] 3
合圖不適當		4							4
積載不適當		3		1					4
けん引不適當									
扉の閉鎖不適當									
乘降未濟發車									
その他		2(2)		[2]		2		1	[2] 5(2)
計	[4] [1] 12(3)	[2] 70(10)	4(1)	[4] 2	2(1)	[1] 26	1	3(1)	[11] [1] 120(16)

（B） 人

原因 ＼ 事故原因者	歩行者	乘客	その他の人
左側通行	2(1)		
信號無視			
車道通行	2(2)		
横斷歩道外横斷	1		
斜横斷	3		
車の直前直後横斷	[1] [1] 7(7)		2(1)
踏切不注意	3		
飛乘		1	
飛降		(1)	
車体外乘車	(1)	1	
路上作業			
路上遊戯			3
酩酊徘徊			
必身欠陷	1(1)		
その他		(1)	(1)
計	[1] [1] 19(12)	2(2)	5(2)

（C） 物件その他

放置物件	
障害物不照明	(1)
道路の欠陷	1(1)
その他	
計	1(2)

[ ] □形は占領軍干係の事故を示しうち□は從たる原因を表はす。
( ) 形は邦人干係事故の從たる原因を表はす。

備考

1. 電車とは、軌道車をいう。以下同じ。
2. 乘用自動車、貨物自動車には小型を含む。以下同じ。
3. 乘客とは、車馬又は軌道車の乘客に限る。以下同じ。
4. 事故一件につき二以上の原因があるときは、主たる原因一を選び該当欄に記入し、從たる原因は、該当欄にその欄の外数として括弧（ ）して記入する。從つて本表の主たる原因の総計は、第三表の事故件数と一致する。
主たる原因とは、当該事故発生に対し最も重大な過失を指し、事故一件につき一原因とするものである。なお、当該事故当事者の過失が同程度か又は不明の場合は、被害の小なる側の主たる原因をとる。

交通事故統計表

第二表　交通事故損害調　（昭和 25年 6月分）

（様式第50號）　　MP　　（昭和　年　月　日報告）

損害を受けたもの ＼ 損害を與えたもの		乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	物件	計
乘用自動車	死者											
	傷者		1								1	2
	物的損害		22,350				300			500.000	[5.000] 3,000	[5.000] 553,650
貨物自動車	死者										2	2
	傷者		4		1					3	8	16
	物的損害	15,750	[700] 18,400		2,500		300		5,500	16,000	46,600	[700] 105,050
乘合自動車	死者											
	傷者								7			7
	物的損害		30,000						100,000	420,000		550,000
その他の自動車	死者				1							1
	傷者		1		1							2
	物的損害		1,500		1,000							2,500
荷車	死者											
	傷者	1	2						1			4
	物的損害	[300]										[300]
自轉車	死者									2	2	4
	傷者	3	14	3		1	2		3	2		28
	物的損害	[1,000] 1,000	22,680	2,000		200			750	11,000		[1,000] 37,630
その他の車馬	死者											
	傷者											
	物的損害											
	死者											

その他の自動車	傷者		1		1									2
	物的損害		1500		1000									2500
荷車	死者													
	傷者	1	2							1				4
	物的損害	[3000]												[3000]
自轉車	死者													
	傷者	3	14	3		1	2		3	2	2			4 28
	物的損害	[1000] 1000	22680	2000		200			750	11000				[1000] 32630
その他の車馬	死者													
	傷者													
	物的損害													
電車	死者													
	傷者		1											1
	物的損害		35,261				400							35,661
汽車	死者										2			2
	傷者	1				1								2
	物的損害													
歩行者	死者	1			[1]						3			[1] 4
	傷者	[2] 5	19	4	1		6		2	3				[2] 40
	物的損害		7000	500										7500
乘客	死者		2		1									3
	傷者	1	2						1					4
	物的損害		10,050											10,050
その他の人	死者		3											3
	傷者	1	12					3						16
	物的損害													
物件	物的損害	1000	[44759] 362900		[12900]	3500								[57659] 302400
計	死者	1	5		[1] 2						7	4		[1] 19
	傷者	[2] 12	56	7	3	2	8	3	14	8	9			[2] 122
	物的損害	[4000] 12750	[45459] 415141	2500	[12900] 3500	3700	1000		106250	947000	[5000] 22600			[67359] 1624461

備考

1、汽車とは、軌道車以外の軌道車又は鉄道をいう。以下同じ。
2、損害を受けたものの損害と、損害を與えたものと交叉した枠に記入する。
3、車馬又は電車の原因によつてその乘客が死傷した場合は、それぞれ損害を受けたものの欄の車馬又は電車の枠に記入し、乘客の原因によつてその乘客が死傷した場合は、同欄の乘客の枠に記入する。
2、及び3、の例乘合自動車と貨物自動車とが衝突して、乘合自動車の乘客が5人死亡し、貨物自動車の助手が1人死亡した場合及び車体外乘車の電車の乘客2人驚いて死亡した場合の記入例は上に示した通りである。
4、物的損害は時價により金額を記入する。
5、歩行者、車馬及び電車等が崖下に轉落した等の場合の事故によるものは、損害を與えたものの欄の物件によるものとして記入する。

第三表　**交通事故件數調**（和昭 25年 6 月分）　MP

事故關係者 ＼ 事故關係者	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽
乘用自動車	(1)	(2) 以 3	(3)	(4)	(5) 以 1	(6) 以 4	(7)	(8)	
貨物自動車		(14) 以 3	(15) 1	(16) 2	(17) 2	(18) 16	(19)	(20) 10	
乘合自動車			(26)	(27)	(28)	(29) 3	(30)	(31) 1	
その他の自動車				(37) 1	(38)	(39)	(40)	(41)	
荷車					(47)	(48) 1	(49)	(50) 1	
自轉車						(56) 2	(57)	(58) 3	
その他の車馬							(64)	(65)	
電車								(71)	
汽車									
歩行者									
乘客									
その他の人									
物件									
事故件數									

021 147

備考　斜線を施した部分は汽車對汽車の事故は本統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故

（昭和 25年 6月分） MP 縣 （昭和 年 月 日報告）

他の動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	歩行者	乘客	その他の人	物件	事故關係者別計
(4)	(5) [1] 1	(6) [1] 4	(7)	(8)	(9) 1	(10) [2] 5	(11) 1	(12) 1	(13) [1] 3	[6] 19
(16) 2	(17) 2	(18) 16	(19)	(20) 10	(21) 3	(22) 18	(23) 2	(24) 11	(25) [1] 19	[3] 90
(27)	(28)	(29) 3	(30)	(31) 1	(32)	(33) 4	(34)	(35)	(36)	9
(37) 1	(38)	(39)	(40)	(41)	(42)	(43) [1] 1	(44) 1	(45)	(46) [3]	[4] 5
	(47)	(48) 1	(49)	(50) 1	(51)	(52) 1	(53)	(54)	(55) 1	[1] 7
		(56) 2	(57)	(58) 3	(59) 3	(60) 5	(61)	(62)	(63) 2	[1] 39
			(64)	(65)	(66)	(67)	(68)	(69) 1	(70)	1
				(71)	(72)	(73) 2	(74) 1	(75) 1	(76)	19
						(77) 6	(78)	(79)	(80)	13
						(81)	(82)	(83)	(84)	[3] 42
							(85)	(86)	(87)	5
								(88)	(89)	13
										[5] 26
										[23] 288

[2] 147

事故は本統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故は考へられないからである。

第四表 車馬電車の交通事故發生時の狀況調（昭和 25 年 6 月分）

事故發生時の車馬電車の狀況		時間									明暗				天			
		0－6	6－9	9－11	11－13	13－15	15－17	17－19	19－21	21－24	晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	晴	曇	霧	雨
自動車	乘用自動車	3	[1] 1		1	[1] 1	3	[1]	[1] 1	2	[4] 7	1		4	[4] 10	1		1
	貨物自動車	[1] 8	13	3	[1] 11	7	13	7	5	3	[1] 60	3	2	[1] 5	[2] 44	15	1	10
	乘合自動車		1	1			1		1		4				3			1
	その他の自動車		[1]		[2] 1	1				[1]	[3] 2		[1]		[1]	[2] 2		[1]
	小計	[1] 11	[2] 15	4	[3] 13	[1] 9	17	[1] 7	[1] 7	[1] 5	[8] 73	4	[1] 2	[1] 9	[7] 57	[2] 18	1	[1] 12
その他の車馬	荷車			1						1	1		1		2			
	自轉車	1	3	[1] 3	6	2	5	2	4		[1] 22	2		2	[1] 18	7		1
	その他				1						1				1			
	小計	1	3	[1] 4	7	2	5	2	4	1	[1] 24	2	1	2	[1] 21	7		1
電車			1			1		1			3				2	1		
計		[1] 12	[2] 19	[1] 8	[3] 20	[1] 12	22	[1] 10	[1] 11	[1] 6	[9] 100	6	[1] 3	[1] 11	[8] 80	[2] 26	1	[1] 1

備考　車馬又は電車の關係する事故件數（第三表の車馬及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄に

25 年 6 月分）　MP　縣（昭和　年　月　日報告）

明	暗			天候					場所				路面の状況							
									市街地		非市街地		乾燥		濕潤		泥濘	積雪	凍結	
[illegible]	夜間明	夜間稍明	夜間暗	晴	曇	霧	雨	雪	交通輻輳	交通閑散	交通輻輳	交通閑散	鋪裝	非鋪裝	鋪裝	非鋪裝			鋪裝	非鋪裝
[illegible] 7	1		4	[4] 10	1		1		[3] 4	5		[1] 3	[3] 7	[1] 4		1				
[illegible] 60	3	2	[1] 5	[2] 44	15	1	10		[1] 24	[1] 22	4	20	[2] 27	28	10	5				
4				3			1		3	1			3			1				
[3] 2		[1]		[1]	[2] 2		[1]		[1]	[1] 1		[2] 1	[1] 1	[2] 1		[1]				
[8] 73	4	[1] 2	[1] 9	[7] 57	[2] 18	1	[1] 12		[5] 31	[2] 29	4	[3] 24	[6] 38	[3] 33	10	[1] 7				
1		1		2								2		2						
[1] 22	2		2	[1] 18	7		1		[1] 10	7	3	6	[1] 12	12	1	1				
1				1						1				1						
[1] 24	2	1	2	[1] 21	7		1		[1] 10	8	3	8	[1] 12	15	1	1				
3				2	1				1	2			1	2						
[9] 100	6	[1] 3	[1] 11	[8] 80	[2] 26	1	[1] 13		[6] 42	[2] 39	7	[3] 32	[7] 51	[3] 50	11	[1] 8				

び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄に記入する。

交通事故統計表

第五表　交通取締處分調　(昭和　年　月分)

(昭和　年　月　日報告)

MP

様式第53號

被處分者別 / 處分別		自動車							荷車	自轉車	その他の車馬	電車	歩行者	その他の人	計
		處分事由													
		交通事故	取締法違反道路交通	法違反道路運送	給規則違反石油製品配	法令違反その他の	その他	小計							
送致	罰金以上	62	495	20	4	12	10	603	16	1344	327		2	48	2340
	拘留														
	科料		58	2				60	13	304	1		2	12	392
	小計	62	553	22	4	12	10	663	29	1648	328		4	60	2732
說諭		33	3195	31		18	50	3327	2034	13318	965	144	36.385	4772	60945
運轉免許の行政處分	取消	1						1							
	停止 條件のない處分	37						37							
	停止 停止條件附處分		1					1							
	停止 解除條件附處分														
	小計	38	1					39							

備考　1. それぞれの件数を記入する。
2. 交通事故と法令違反とが競合するときは交通事故の欄に記入する。
3. 送致は送致摘要簿による送致見込件数を記入する。

別記様式(一)

交通事故による死傷者の職業別及性別調（昭和25年 6月分） MP 縣（昭和 年 月 日報告）

職業別 ＼ 死傷別・性別		輕傷 男	輕傷 女	輕傷 計	重傷 男	重傷 女	重傷 計	死亡 男	死亡 女	死亡 計	計 男	計 女	計 計
事務的職業	一般事務者	5		5	3		3	1		1	9		9
	經營者、管理人、支配人												
	一般官公吏	4		4	1		1	1		1	6		6
	警察官吏												
自由職業	教育者	1		1							1		1
	醫療、保健的職業												
	その他	1		1				2		2	3		3
交通的職業	運輸的職業	13		13							13		13
	通信的職業												
農林技術者 作業者					3		3	2		2	5		5
水産技術者 作業者													
鑛山技術者 作業者													
工業技術者 作業者		8		8				3		3	11		11
商的職業		3	4	7	1	1	2				4	5	9
家事使用人		1		1	1		1				2		2
その他の職業		囗5	3	囗8				1		1	囗6	3	囗9
無職者		17	15	32	2	7	9	3	囗6	囗9	22	囗28	囗50
學生	大學高等專門學校	1	1	2							1	1	2

	その他	1		1				2		2	3		3
交通的職業	運輸的職業	13		13							13		13
	通信的職業												
農林技術者作業者					3		3	2		2	5		5
水産技術者作業者													
鑛山技術者作業者													
工業技術者作業者		8		8				3		3	11		11
商的職業		3	4	7	1	1	2				4	5	9
家事使用人		1		1	1		1				2		2
その他の職業		[1]5	3	[1]8				1		1	[1]6	3	[1]9
無職者		17	15	32	2	7	9	3	[1]6	[1]9	22	[1]28	[1]50
學生生徒	大學高等專門學校	1	1	2							1	1	2
	中學校（新制）	2		2	1	4	5				3	4	7
	小學校	[1]8	4	[1]12	2		2				[1]10	4	[1]14
外國人	進駐軍將兵												
	進駐軍所屬者												
	その他												
合計		[1]69	27	[2]96	14	12	26	13	[1]6	[1]19	[2]96	[1]45	[3]141

（備考）

(1) 一人が二種以上の職業を有する場合は主たる職業に依る。主たる職業とは、從事する時間のより多い職業をいふ。

(2)「一般事務者」中には例へば建築會社の社員であつて建築の設計企畫又は監督等をする者であつても、その者がより多くの時間一般の事務に從事する場合等を含むものであり、之ら「工業技術者、作業者」としない。

(3)「一般官吏」中には、官公吏である醫療、保健、運輸、通信、農林、水產、鑛山、工業其の他の技官技師を含まない。之らの者は「醫療保健的職業」「運輸的職業」「通信的職業」「農林技術者作業者」「水產〃」「鑛山〃」「工業〃」等とする。但し之らの者がより多くの時間一般事務に專從する場合には「一般官公吏」とする。

(4)「教育者」中には官公吏である教育者を含む、この者を「一般官吏」としない。

(5)「自由職業」中の「其の他」には研究者、辨護士、計理士、茶道教授、作家、畫家等を含む。

(6)「商的職業」中には物品販賣作業者、店員、仲買人、集金人、接客者たる給仕人、社交ダンサー、理髮師を含む。

(7)「無職者」中には學生々徒を含まない。

(8) 輕傷とは全治一ケ月以下をいゝ重傷とはそれ以上を云ふ。

別記様式（二）

交通事故による死傷者の年令別及性別調（昭和 25 年 6 月分） MP 縣（昭和 年 月 日報告）

年令別	加害者別 / 性別 / 死傷別	乗用自動車 男	乗用自動車 女	貨物自動車 男	貨物自動車 女	乗合自動車 男	乗合自動車 女	その他の自動車 男	その他の自動車 女	荷車 男	荷車 女	自轉車 男	自轉車 女	その他の車馬 男	その他の車馬 女	電車 男	電車 女	汽車 男	汽車 女	物件 男	物件 女	計 男	計 女
5才以下	輕傷	1	1	3	2							1						1				6	3
	重傷				1						1							1				1	2
	死亡	1		2																	1	3	1
6才—10才	輕傷	(1) 2		6	5								1									(1) 8	6
	重傷		1	3	1																	3	2
	死亡				1																		1
11才—15才	輕傷			3		3	1															6	1
	重傷			1	1														3			1	4
	死亡																						
16才—20才	輕傷	1		4	1		1	2		1						2	1	1				11	3
	重傷																						
	死亡							1														1	
21才—25才	輕傷	1		3	1	1						1		1				1		1		9	1
	重傷				1								1			1						1	2
	死亡			1																		1	
26才—30才	輕傷			2									1									3	
	重傷											1			1							1	1
	死亡																						
31才	輕傷		1	4	3			1								2		1		4		12	4

16才—20才	輕傷	1		4	1		1	2		1						2	1	1				11	3								
	重傷																														
	死亡							1														1									
21才—25才	輕傷	1		3	1	1						1		1				1		1		9	1								
	重傷				1											1						1	2								
	死亡			1																		1									
26才—30才	輕傷			2																		3									
	重傷												1									1	1								
	死亡											1		1																	
31才—40才	輕傷		1	4	3			1								2		1		4		12	4								
	重傷															2				2		4									
	死亡																														
41才—50才	輕傷	(1)2	1	5			1						1			1				1		(1)9	3								
	重傷																														
	死亡			1					(1)																						
51才—60才	輕傷			2	1												1	1	1			2	(1)								
	重傷			2															1			3	3								
	死亡							1												2		4	1								
61才—70才	輕傷	1															1	1				2	2								
	重傷															2	1			2		4	1								
	死亡			1																		1									
70才以上	輕傷																2						2								
	重傷	(2)8	3	32	13	4	3	3		1		2	4	1	1	7	3	4		7		(2)69	27								
	死亡		1	7	4						1	1	1		1	3	1	1	3	2		14	12								
計		1		4	1			2	(1)									4	3	2	2	13	(1)6								

備考、輕傷とは全治一ケ月以下をいい重傷とはそれ以上を云ふ。

法律行政課

廣管備ら発第一六一〇號

昭和二十五年八月二五日

廣島警察管区本部警備部長

中国地方民事部長

國警本部警ら交通課長

警視庁警備交通部長

各管区本部警備部長

管内各縣警察隊長

広島鉄道管理局長

殿

吳地方民事部長

半年報送付について

當管内に於ける昭和二十五年一月より六月までの交通事故を別紙の通り取纏めたから市参考までに申(通)報します。

尚管内各縣警察隊長にありては執務上の参考にせられたい。

交通事故統計表

様式第49號

第一表 交通事故原因調（昭和　年　月分）

N＋M　半年報（昭和　年　月　日報告）

（A）車馬、電車

事故原因者 / 原因	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	計
制動裝置不完全	14(1)	4/[4]	4	(1) /		① 14		2	(1)① 76[4]
操向裝置不完全	① 5	26[1]	8	/		(1) 2			(1)① 42[1]
燈火不完全	/	(1) 6		[1]		3			(1) 10[1]
牛馬狂奔				/	4[2]		3[1]		8[3]
滑走	/	4							5
その他の車馬電車の欠陷	/	5				①		1	① 7
操縱未熟練	(b)① 20[3]	(1) 71[17]	12[1]	15[2]		16[4]		2[1]	(7)① 236[28]
酩酊操縱	(1) 11	(1) 65[4]	2[1]	(1) 3[1]		8[1]			(3) 89[9]
假睡操縱	(1) 3	17[1]							(1) 20[1]
操縱者の必身欠陷	/	8[1]			/	/			11[1]
ハンドルたずな等操作不履行	(2) /	11[1]			2	(1) 5	/		(3) 20[1]
最高速度制限違反	(9)④ [1]	11[4]	[1]	[1]				1	(9)④ 12[7]
信號無視		2		/		4			7
左折不適當	/	11[3]	3	/					16[3]
右折不適當		9[4]	/	2		2			14[4]
右側通行	1[1]	8[2]	/	(1) [1]		6[3]	/		(1) 17[7]
通行區分違反	(1)	(1) 8				2	/		(2) 11
斜横斷		/				(1) 4[1]			(1) 5[1]
安全地帶通過、乘入						2			2
他車の直前直後横斷	(1) 3	10[3]	/			(1) 11[5]		1	(2) 26[8]
轉回不適當	/	11[1]	(1) /	(1)					(2) 13[1]
後退不適當	2	19[1]	4	(1)	[1]				(1) 25[2]
併進	/	2[1]				2[1]			5[2]
連續進行		(1) 2	/			2[1]			(1) 5[1]
追越不適當	(2) 4[2]	(1) 60[9]	5	① 4[1]	/	7[2]	/		(3)① 82[12]
踏切不注意	4	33[4]	/			9	/		48[4]
優先交通違反	(1) 2	9[1]	2[1]			3[1]			(1) 16[3]
廣路不注意	(1) 2	2	1[1]						(1) 5[1]
避讓不適當	(2) 3[1]	17[8]	5	1[1]	/	(1) 4	/		(3) 32[10]

原因 ＼ 事故原因者									
通行区分違反	(1)	(1) 8				2	1		(2) 11
斜横断		1				(1) 4[1]			(1) 5[1]
安全地帯通過、乗入						2			2
他車の直前直後横断	(1) 3	10[3]	1			(1) 11[5]		1	(2) 26[8]
轉回不適當	1	11[1]	(1) 1	(1)					(2) 13[1]
後退不適當	2	19[1]	4	(1)	[1]				(1) 25[2]
併進	1	2[1]				2[1]			5[2]
連續進行		(1) 2	1			2[1]			(1) 5[1]
追越不適當	(2) 4[2]	(1) 60[7]	5	(1) 4[1]	1	7[2]	1		(3)(1) 82[12]
踏切不注意	4	33[4]	1			9	1		48[4]
優先交通違反	(1) 2	9[1]	2[1]			3[1]			(1) 16[3]
廣路不注意	(1) 2	2	1[1]						(1) 5[1]
避讓不適當	(2) 3[1]	17[8]	5	1[1]	1	(1) 4	1		(3) 32[10]
徐行違反	(2) 6[1]	65[10]	2	2		(1) 1		2	(3) 78[17]
停車駐車不適當	(1) 3[1]	34[6]	5	(2) 2		1[1]	1[1]	[1]	(3) 46[10]
合圖不適當	(1) 3[2]	20[8]	7[2]	2	1	[1]			(1) 33[13]
積載不適當		13[2]		1					14[2]
けん引不適當	(1) 1	1		1					(1) 3
扉の閉鎖不適當			2					2	4
乘降未濟發車			3						3
その他	(2) 1	57[10]	13[1]	(9) 4	1	9[5]	2	(1) 3[2]	(12) 92[18]
計	(2)(8) 76[19]	(6) 761[104]	(1) 84[8]	(16)(1) 42[8]	11[3]	(6)(2) 118[26]	12[2]	(1) 14[4]	(62)(1) 138[174]

(B) 人

原因 ＼ 事故原因者	歩行者	乘客	その他の人
左側通行	(2) 7[8]		
信號無視	2		
車道通行	20[5]		
横断歩道外横断	3[1]		
斜横断	13[6]		1
車の直前直後横断	(7)(4) 48[39]		8[8]
踏切不注意	17[1]		1
飛乘	1	9[3]	1
飛降		6[3]	2
車体外乘車	1[1]	7[1]	4[1]
路上作業	[1]		2[5]
路上遊戲	1[1]		(2)(1) 28[11]
酩酊徘徊	(1) 2[3]		3[3]
必身欠陷	7[2]	1	4[2]
その他	6[12]	2[3]	15[10]
計	(9)(2) [30[80]	25[10]	(2)(1) 6[40]

(C) 物件その他

放置物件	2[1]
障害物不照明	(1) [3]
道路の欠陷	28[10]
その他	3[4]
計	(1) 33[18]

( )○印は占領軍手係の事故を示し、○印は従たる原因を表はす。

[ ]印は邦人手係の事故の従たる原因を示す。

備考

1. 電車とは、軌道車をいう。以下同じ。
2. 乘用自動車、貨物自動車には小型を含む。以下同し。
3. 乘客とは、車馬又は軌道車の乘客に限る。以下同じ。
4. 事故一件につき二以上の原因があるときは、主たる原因一を選び該当欄に記入し、従たる原因は、該当欄にその欄の外数として括弧( )して記入する。従つて本表の主たる原因の総計は、第三表の事故件数と一致する。
   主たる原因とは、当該事故発生に対し最も重大な過失を指し、事故一件につき一原因とするものである。なお、当該事故当事者の過失が同程度か又は不明の場合は、被害の小なる側の主たる原因をとる。

交通事故統計表

第二表　交通事故損害調　（昭和　年　月分）

（様式第50號）　　N+M 半年報　　（昭和　年　月　日報告）

損害を受けたもの ＼ 損害を與えたもの		乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	物件	計
乘用自動車	死者										(1) 1	(1) 1
	傷者	(2) 3	6	2					3	4	(8) 21	(10) 39
	物的損害	(60,000) 44.700	(8.000) 186350	(17.000) 21.500		3.000	300		(500) 115.500	1302000	(136.500) 784250	(205.700) 2457600
貨物自動車	死者		4							7	26	37
	傷者	2	62		3				2	21	208	298
	物的損害	92850	(700) 2219634	135023	12.800		300		29300	285.7000	(8.000) 5648463	(17.000) 10993370
乘合自動車	死者											
	傷者		9	2		1			7	4	39	62
	物的損害	5.000	353.574	1.000	—	1800			110,000	555,000	994.560	2.020.874
その他の自動車	死者				1							1
	傷者		8		1		1			2	(1) (1.500) 1.000	(1) 12 (1.500) 236.100
	物的損害		29.100	90.000	1.000					115.000		
荷車	死者		1									1
	傷者	(1) 2	(1) 13	1					2			(2) 18
	物的損害	(350)	(1.000) 115.320		(1200)				500	5,000		(5.700) 120.820
自轉車	死者		19	4		1		1	3	4	4	36
	傷者	(6) 18	132	14	(2) 6	4	4		8	9	1	(8) 196
	物的損害	(7.850) 2400	165.960	16850	6.500	200		700	3750	41000	(2000) 1.500	(9.850) 243.560
その他の車馬	死者						1					1
	傷者	3	9	2	(1) 1				1			(1) 16
	物的損害	45.000	149.550		(7.000) 400		5.000		1800	10.000		(7.000) 21.750
電車	死者											
	傷者	2	4									

その他の自動車	傷者	[illegible]	[illegible]		[illegible]		[illegible]			[illegible]		
	物的損害		29.100	90.000	1.000					115.000	(1500) 1.000	(1500) 236.100
荷車	死者		1									1
	傷者	(1) 2	(1) 13	1					2			(2) 18
	物的損害	(3500)	(1000) 115.320		(1200)				500	5.000		(5.700) 120.520
自轉車	死者		19	4		1		1	3	4	4	36
	傷者	(6) 18	132	14	(2) 6	4	4		8	9	1	(8) 196
	物的損害	(7850) 7.400	165.960	16.850	6.500	200		700	3.750	41.000	(2000) 1.500	(9.850) 243.860
その他の車馬	死者						1					1
	傷者	3	9	2	(1) 1				1			(1) 16
	物的損害	45.000	149.550		(7.000) 400		5.000		1.800	10.000		(7000) 211.750
電車	死者											
	傷者	2	4						3			9
	物的損害	65.800	135.265	6.500			400	800	1.100		500	210.365
汽車	死者		4							2		6
	傷者	1	8			1						10
	物的損害		348.100									348.100
歩行者	死者	(1) 2	33	8	(1) 3	1	1	3	3	21		(2) 75
	傷者	(10) 35	185	19	(4) 22	2	(1) 15	3	15	17		(15) 313
	物的損害		52.800	500	(2.800)							(2800) 53.300
乘客	死者		14	2	1					2	2	21
	傷者	(3) 3	45	106	3				4	5	3	(3) 169
	物的損害		71.050	20.000							100	91.150
その他の人	死者		30	11	2	2	1	1	1	6		54
	傷者	(3) 9	82	40	(2) 8	4	6	4	6	6		(5) 175
	物的損害		38.530		500							39.030
物件	物的損害	(20.000) 180.980	(45.457) 1.329.923	713.500	(17.900) 357.888	3.500	1.000	11.000		30.000	36.000	(83.957) 2.063.791
計	死者	(1) 2	105	25	(1) 7	4	3	5	7	42	(1) 33	(3) 233
	傷者	(25) 78	(1) 573	186	(9) 44	12	(1) 26	7	51	68	(9) 272	(45) 1317
	物的損害	(91.950) 441.730	(55.159) 5.193.156	(17.000) 406.873	(28.900) 379.088	8.500	7.000	12.500	(500) 261.950	4.915.000	(141.000) 7.463.313	(319.209) 19.090.110

備考

1、汽車とは、軌道車以外の軌道車又は鉄道をいう。以下同じ。
2、損害を受けたものの損害と、損害を與えたものと交叉した枠に記入する。
3、車馬又は電車の原因によつてその乘客が死傷した場合は、それぞれ損害を受けたものの欄の車馬又は電車の枠に記入し、乘客の原因によつてその乘客が死傷した場合は、同欄の乘客の枠に記入する。
　2、及び3、の例乘合自動車と貨物自動車とが衝突して、乘合自動車の乘客が5人死亡し、貨物自動車の助手が1人死亡した場合及び車体外乘車の電車の乘客2人墜落して死亡した場合の記入例は上に示した通りである。
4、物的損害は時價により金額を記入する。
5、歩行者、車馬及び電車等が崖下に墜落した等の場合の事故によるものは、損害を與えたものの欄の物件によるものとして記入する。

第三表　**交通事故件數調**（昭和　半年　報　月分）　N+M1

事故關係者 ＼ 事故關係者	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽
乘用自動車	(1)(3) 10	(2)(3) 22	(3) (2) 2	(4) (1)	(5) (3) 3	(6) (9) 21	(7) (1) 1	(8) (2) 7	
貨物自動車		(14) (1) 50	(15) 18	(16) 8	(17) (1) 20	(18) 155	(19) 12	(20) 34	
乘合自動車			(26) 3	(27) 1	(28) 1	(29) 19	(30) 2	(31) 4	
その他の自動車				(37) 1	(38) (1)	(39) (2) 8	(40) (1) 2	(41)	
荷車					(47)	(48) 5	(49)	(50) 2	
自轉車						(56) 7	(57) 5	(58) 12	
その他の車馬							(64)	(65) 1	
電車								(71) 2	
汽車									
歩行者									
乘客									
その他の人									
物件									
事故件數								(71) 1395	

備考　斜線を施した部分は汽車對汽車の事故は本統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故は

昭　半年　報月分）　N+M　　縣　（昭和　年　月　日報告）

荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	歩行者	乘客	その他の人	物件	事故關係者別計
(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	
(3) 3	(9) 21	(1) 1	(2) 7	7	(11) 35	3	(4) 6	(9) 23	(48) 140
(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	
(1) 20	155	12	34	37	196	22	100	(3) 245	(8) 919
(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	
1	19	2	4	1	27	16	21	21	(2) 136
(38)	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	
(1)	(2) 8	(1) 2		1	(6) 22	1	(1) 9	(6) 16	(8) 63
(47)	(48)	(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	
	5		2		4		4	3	(5) 49
	(56)	(57)	(58)	(59)	(60)	(61)	(62)	(63)	
	7	5	12	13	(1) 15		8	6	(12) 274
		(64)	(65)	(66)	(67)	(68)	(69)	(76)	
			1	1	6		3	2	(2) 34
			(71)	(72)	(73)	(74)	(75)	(76)	
			2		20	4	5	3	(2) 94
					(77)	(78)	(79)	(80)	
					35	5	12		112
					(81)	(82)	(83)	(84)	
									(8) 360
						(85)	(86)	(87)	
								4	55
							(88)	(89)	
								1	(5) 169
									(8) 318

(71) 1395

統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故は考へられないからである。

第四表　車馬電車の交通事故發生時の狀況調（昭和　半　年　報　月分）　ルナル

事故發生時の狀況 ＼ 車馬電車		時間 0-6	6-9	9-11	11-13	13-15	15-17	17-19	19-21	21-24	明暗 晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	天候 晴	曇	霧	雨
自動車	乘用自動車	5	5	10	9	12	18	17	9	11	68	10	3	15	67	18		9
		(1)			(3)	(1)	(1)				(5)			(1)	(5)	(1)		
	貨物自動車	32	73	109	110	113	124	110	56	34	632	47	35	47	538	148	3	67
	乘合自動車		9	17	10	10	19	14	(1) 4	1	78	3	(1) 1	2	(1) 57	19		6
	その他の自動車		(2) 2	(1) 5	(3) 8	(1) 8	(4) 5	(4) 9	2	(1) 3	(14) 36	(1) 4	(1)	2	(6) 24	(7) 15		(3) 3
	小計	(1) 37	(4) 89	(3) 141	(11) 137	(3) 143	(10) 166	(8) 150	(4) 71	(3) 49	(48) 814	(2) 64	(4) 39	(6) 66	(29) 686	(10) 210	3	(6) 85
その他の車馬	荷車		1	3		2	4			1	10		1		11			
	自轉車	1	12	(2) 20	21	17	(2) 18	(2) 21	5	3	(5) 104	2	(1) 3	9	(5) 93	(1) 16		9
	その他			1	2	2	5	1		1	11			1	10	2		
	小計	1	13	(2) 24	23	21	(2) 27	(2) 22	5	5	(5) 125	2	(1) 4	10	(5) 114	(1) 18		9
電車			2		1	2	3	5	(1) 1		13	(1)		1	(1) 7	4		3
計		(1) 38	(4) 104	(5) 165	(11) 161	(7) 166	(12) 196	(10) 177	(5) 77	(7) 54	(48) 952	(3) 66	(5) 43	(6) 77	(45) 807	(11) 222	3	(6) 97

備考　車馬又は電車の關係する事故件數（第三表の車馬及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄に記入

和　半年　報月分）　ルナル　縣（昭和　年　月　日報告）

明暗				天候					所場				路面の狀況							
晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	晴	曇	霧	雨	雪	市街地		非市街地		乾燥		濕潤		泥濘	積雪	凍結	
									交通輻輳	交通閑散	交通輻輳	交通閑散	鋪裝	非鋪裝	鋪裝	非鋪裝			鋪裝	非鋪裝
(24)	(1)	(2)	(5)	(27)	(2)		(3)		(18)	(6)	(2)	(6)	(23)	(6)	(1)	(1)	(1)			
68	10	3	15	67	18		9	2	41	26	9	20	56	27	4	8		1		
(5)			(1)	(5)	(1)				(4)	(2)			(6)							
632	47	35	47	538	148	3	67	5	221	183	71	286	283	357	44	63	11	2		1
		(1)		(1)					(1)				(1)							
78	3	1	2	57	19		6	2	26	15	10	33	31	40	6	6	1			
(14)	(1)	(1)		(6)	(7)		(3)		(4)	(5)	(4)	(3)	(5)	(5)	(2)	(1)				
36	4		2	24	15		3		11	11	3	17	11	23	2	5	1			
(43)	(2)	(4)	(6)	(29)	(16)		(6)		(27)	(13)	(6)	(9)	(38)	(11)	(3)	(2)	(1)			
814	64	39	66	686	200	3	85	9	299	235	93	356	381	447	56	82	13	3		1
1	10		1		11				2		1	8	1	10						
	(5)		(1)		(5)	(1)			(5)	(1)			(6)							
	104	2	3	9	93	16		9		49	31	9	29	52	44	7	4	1		
	11			1	10	2			5	3	1	3	4	7		1				
	(5)		(1)		(5)	(1)			(5)	(1)			(6)							
	125	2	4	10	114	18		9		56	34	11	40	57	71	7	5	1		
		(1)			(1)					(1)			(1)							
	13			1	7	4		3		8	4	2		7	3	3				
	(48)	(3)	(5)	(6)	(45)	(11)		(6)		(32)	(15)	(6)	(7)	(45)	(11)	(3)	(2)	(1)		
4	952	66	43	77	807	222	3	97	9	363	273	106	396	445	521	66	87	14	3	1	1

及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄に記入する。

交通事故統計表

第五表　交通取締處分調　（昭和　年　月分）

半年報　NRP+MP　（昭和　年　月　日報告）

様式第53號

被處分者別 / 處分別		自動車							荷車	自轉車	その他の車馬	電車	歩行者	その他の人	計
		處分事由													
		交通事故	取締法違反道路交通	法違反道路運送	給規則違反石油製品配	法令違反その他の	その他	小計							
送致	罰金以上	582	5453	196	13	118	30	6592	283	11050	498	13	48	344	18798
	拘留			1				1		5					6
	科料	2	462	8		30	1	503	188	1697	8		4	80	2480
	小計	584	6115	205	13	148	31	7096	441	12752	506	13	52	424	21284
說諭		539	36178	538	34	2255	319	39863	11689	104231	12466	2543	464691	47277	682761
運轉免許の行政處分	取消	15	3				2	20							
	停止 條件のない處分	140	1	3				144							
	停止 停止條件附處分	42		1				43							
	停止 解除條件附處分	8	1					9							
	小計	205	5	4			2	216							

備考　1. それぞれの件数を記入する。
2. 交通事故と法令違反とが競合するときは交通事故の欄に記入する。
3. 送致は送致摘要簿による送致見込件数を記入する。

別記様式(一)

交通事故による死傷者の職業別及性別調（昭和半 年較 昇分）N+M　縣（昭和　年　月　日報告）

職業別 ＼ 死傷別・性別		軽傷 男	軽傷 女	軽傷 計	重傷 男	重傷 女	重傷 計	死亡 男	死亡 女	死亡 計	計 男	計 女	計 計
事務的職業	一般事務者	(1) 36	(1) 8	(2) 44	10	3	13	4	1	5	(1) 50	(1) 12	(2) 62
	經営者、管理人、支配人	(1) 7		(1) 7	2		2				(1) 9		(1) 9
	一般官公吏	27	3	30	11		11	5		5	43	3	46
	警察官吏	6		6							6		6
自由職業	教育者	4	2	6	1		1				5	2	7
	醫療、保健的職業	5	3	8	4		4				9	3	12
	その他	8	2	10	2	2	4	3		3	13	4	17
交通的職業	運輸的職業	(2) 134	4	(2) 138	45		45	25		25	(2) 204	4	(2) 208
	通信的職業	3	1	4							3	1	4
農林技術者作業者		(2) 96	31	(2) 127	(1) 22	18	(1) 40	15	6	21	(3) 133	55	(3) 188
水産技術者作業者		3		3	2		2	1		1	6		6
鑛山技術者作業者		7	3	10	1		1				8	3	11
工業技術者作業者		(1) 49		(1) 49	10		10	13	1	14	(1) 72	1	(1) 73
商的職業		(2) 70	14	(2) 84	16	2	18	10	1	11	(2) 96	17	(2) 113
家事使用人		5	2	7	2	3	5				7	5	12
その他の職業		(2) 70	18	(2) 88	(1) 19	7	(1) 26	20	4	24	(3) 109	29	(3) 138
		(6)	(5)	(11)	(3)	(3)	(6)	(2)	(2)	(4)	(8)	(8)	(16)

交通的職業	運輸的職業	(2) 134	4	(2) 138	45		45	25		25	(2) 204	4	(2) 208
	通信的職業	3	1	4							3	1	4
農林技術者作業者		(2) 96	31	(3) 127	(1) 22	18	(1) 40	15	6	21	(3) 133	55	(3) 188
水産技術者作業者		3		3	3		2	1		1	6		6
鑛山技術者作業者		7	3	10	1		1				8	3	11
工業技術者作業者		(1) 49		(1) 49	10		10	13	1	14	(1) 72	1	(1) 73
商的職業		(2) 70	14	(2) 84	16	2	18	10	1	11	(2) 96	17	(2) 113
家事使用人		5	2	7	2	3	5				7	5	12
その他の職業		(2) 70	18	(2) 88	(1) 19	7	(1) 26	20	4	24	(3) 109	29	(3) 138
無職者		(4) 123	(5) 125	(11) 248	(1) 42	(2) 48	(3) 96	(1) 42	(4) 55	(2) 97	(8) 207	(8) 228	(16) 435
學生生徒	大學高等專門學校	5	4	9	1		1	1	1	2	7	5	12
	中學校（新制）	12	(2) 27	(2) 39	(2) 11	7	(2) 18	6		6	(2) 29	(1) 34	(3) 63
	小學校	(3) 62	16	(3) 78	22	(1) 9	(3) 31	12	7	19	(3) 96	(1) 32	(4) 128
外國人	進駐軍將兵	(5)		(5)	(4)		(4)	(1)		(1)	(10)		(10)
	進駐軍所屬者		(1)	(1)								(1)	(1)
	その他												
合計		(25) 732	(8) 263	(33) 995	(9) 223	(3) 99	(12) 322	(2) 157	(1) 76	(3) 233	(36) 1112	(12) 438	(48) 1550

（備考）

(1) 一人が二種以上の職業を有する場合は主たる職業に依る。主たる職業とは、從事する時間のより多い職業をいふ。

(2)「一般事務者」中には例へば建築會社の社員であつて建築の設計企畫又は監督等をする者であつても、その者がより多くの時間一般の事務に從事する場合等を含むものであり、之ら「工業技術者、作業者」としない。

(3)「一般官吏」中には、官公吏である醫療、保健、運輸、通信、農林、水產、鑛山、工業其の他の技官技師を含まない。之らの者は「醫療保健的職業」「運輸的職業」「通信的職業」「農林技術者作業者」「水產〃」「鑛山〃」「工業〃」等とする。但し之らの者がより多くの時間一般事務に專從する場合には「一般官公吏」とする。

(4)「教育者」中には官公吏である教育者を含む、この者を「一般官吏」としない。

(5)「自由職業」中の「其の他」には研究者、辨護士、計理士、茶道教授、作家、畫家等を含む。

(6)「商的職業」中には物品販賣作業者、店員、仲買人、集金人、接客者たる給仕人、社交ダンサー、理髮師を含む。

(7)「無職者」中には學生々徒を含まない。

(8) 輕傷とは全治一ケ月以下をいゝ重傷とはそれ以上を云ふ。

別記様式（二）

交通事故による死傷者の年令別及性別調（昭和　年　月分）N+M縣（昭和　年　月　日報告）

年令別	死傷別	加害者別	乗用自動車		貨物自動車		乗合自動車		その他の自動車		荷車		自轉車		その他の車馬		電車		汽車		物件		計	
		性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
5才以下	輕傷		(1) 7	(1) 2	29	21	5	6	(2) 3		4		1		1		2		2	4	1		(3) 55	(1) 33
	重傷		(1) 1		12	7	3	1	1			1	1						3	3			(1) 21	12
	死亡		1	1	14	8	3	7		2	1	2				3	2		3	1		1	25	25
6才—10才	輕傷		(4) 9	4	33	14	3	3	(1) 4				6	3	1		1		1	1	7	3	(5) 65	28
	重傷		3	(2) 1	17	5	1	1	2	1					1		1	1	2	1	2		29	(2) 14
	死亡				8	9	3	2											1	1	1	1	13	13
11才—15才	輕傷		(1) 3		18	4	3	6	6	(1)	2	1	1								5		(1) 38	(1) 11
	重傷		2		9	7					1									3	2	1	20	11
	死亡				6		2	1			1									1			9	2
16才—20才	輕傷		(1) 7		33	12	9	25	5		1						4	4	3		23	11	(1) 85	52
	重傷		(2) 1		6	10	1	3											3	1	3	2	(2) 14	16
	死亡				8		2	1	1				1				1		2		1	1	16	2
21才—25才	輕傷		(1) 9	3	20	8	10	10	2	1			1		1			1	4	2	(2) 41	(3) 5	(3) 88	(3) 30
	重傷				6	5	1	1	1					1			1		4		(2) 16	1	(2) 29	8
	死亡				5	2													3	1	(1) 8	1	(1) 16	4
26才—30才	輕傷		(3) 3	1	23	7	13	1	(1) 2					1			6		2	2	(1) 27	11	(1) 76	(1) 19
	重傷		(2) 1		13	1	1		2	1			1		(1)	1		1	3		3		(3) 34	4
	死亡				7								1						3	1	5	1	16	2
31才—40才	輕傷		(1) 2	2	48	11	22	7	3	2				2			8	2	6	3	38	4	(1) 127	33
	重傷		1		15	8	1		1								3	1	2		4	1	30	10
	死亡																							

16才—20才	輕傷	(1) 7		33	12	9	25	5		1							4	4	3		23	11	(1) 85	52
	重傷	(2) 1		6	10	1	3												3	1	3	2	(2) 14	16
	死亡			8		2	1	1					1				1		2		1	1	16	2
21才—25才	輕傷	(1) 9	3	20	8	10	10	2	1				1		1			1	4	2	(2) 41	(3) 5	(3) 88	(3) 30
	重傷			6	5	1	1	1						1			1		4		(2) 16	1	(2) 29	8
	死亡			5	2														3	1	(1) 8	1	(1) 16	4
26才—30才	輕傷	(3) 3	1	23	7	13	1	(1) 2						1			6		2	2	(1) 27	(1) 7	(5) 76	(1) 19
	重傷	(2) 1		13	1	1		2	1				1		(1)	1		1	3		2		(3) 34	4
	死亡			7									1						3	1	5	1	16	2
31才—40才	輕傷	(3) 2	2	48	11	22	7	3	2					2			8	2	6	3	38	4	(1) 127	33
	重傷	1		15	8	1		1									3	1	2		4	1	30	10
	死亡			6	1														3		2	1	11	2
41才—50才	輕傷	(2) 3	2	(1) 46	8	12	8	2	1	1		2	1				4		3	1	19	2	(3) 92	23
	重傷	2	(1)	19	5	3	2	1				1							3		4	4	33	(1) 11
	死亡			11	3			1	(1)								1		2	1	2		17	(1) 4
51才—60才	輕傷	3		38	6	8	1	(1) 1						(1)		1	3	1	1		11	5	(1) 65	(1) 14
	重傷	(1)		8	4		4	1						1				1	1		4		(1) 14	10
	死亡			4		1	1	1									2		3	1	3	2	14	4
61才—70才	輕傷	(1) 2		14	4	4	(1) 2	1	(1)					3			2	1	1		7		(1) 28	(2) 10
	重傷		1	4		1	1									1	2	1			2	2	9	6
	死亡	(1)		4	5	1	1	1	1					1	1				4	2	2	1	(1) 13	11
70才以上	輕傷	1		4	4	1	1			1										2	2	1	9	8
	重傷	1	1	2	2	1																	4	3
	死亡			3	1												1		3	6			7	7
計	輕傷	(15) 49	(1) 14	(1) 366	97	90	(9) 76	(5) 27	(2) 4	9	1	11	(1) 10	3	1	30	9	23	15	(3) 178	(4) 38	(24) 928	(9) 261
	重傷	(6) 12	(3) 3	114	54	13	13	9	2	1	1	3	2	(1) 1	2	7	6	22	8	(2) 45	11	(9) 227	(3) 101
	死亡	(1) 1	1	76	29	12	13	4	(3) 3	2	2	2	1	2	3	7		27	15	(1) 24	9	(2) 157	(1) 76

備考、輕傷とは全治一ケ月以下をいい重傷とはそれ以上を云ふ。

交通事故統計表

様式第49號

第一表 交通事故原因調（昭和　年　月分）

（A）車馬、電車　　半年報 NRP　　（昭和　年　月　日報告）

原因＼事故原因者	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	計
制動裝置不完全	6	18[3]	2	(1)		5		2	(1)33[3]
操向裝置不完全	1	14[1]	6	1					22[1]
燈火不完全		4		[1]		1			5[1]
牛馬狂奔				1	1[1]				2[1]
滑走		2							2
その他の車馬電車の欠陷		2							2
操縱未熟練	(1)4[2]	77[6]	7	3		7[2]			(1)98[10]
酩酊操縱	2	25[1]		2[1]		1			30[2]
假睡操縱	1	11[1]							12[1]
操縱者の必身欠陷		1[1]			1				2[1]
ハンドルたずな等操作不履行		4							4
最高速度制限違反	(1)	3							(1) 3
信號無視						2			2
左折不適當		4	1						5
右折不適當		3[2]		1		1			5[2]
右側通行		2		(1)		1[1]			(1)3[1]
通行區分違反		1							1
斜横斷						1			1
安全地帶通過、乘入									
他車の直前直後横斷	(1)	1[1]				1[1]			(1)2[2]
轉回不適當		4							4
後退不適當		7	2						9
併進		1[1]				1			2[1]
連續進行									
追越不適當	2	27	1	1					31
踏切不注意		11[2]	1			4	1		17[2]
優先交通違反						1			1
廣路不注意	1	2							3
避讓不適當	1	5[3]	1	1[1]		2			10[4]

右側通行		2							
通行區分違反		1							1
斜横斷						1			1
安全地帶通過、乘入									
他車の直前直後横斷	(1)	10				10			(1) 2 [2]
轉回不適當		4							4
後退不適當		7	2						9
併進		10				1			2 [1]
連續進行									
追越不適當	2	27	1	1					31
踏切不注意		11 [2]	1			4	1		17 [2]
優先交通違反						1			1
廣路不注意	1	2							3
避讓不適當	1	5 [3]	1	1 [1]		2			10 [4]
徐行違反	(1) 1 [2]	19 [1]	2			1			(1) 23 [3]
停車駐車不適當		12 [1]	2			1			15 [1]
合圖不適當	[1]	10 [5]	5 [1]	2		[1]			17 [8]
積載不適當		3 [2]							3 [2]
けん引不適當									
扉の閉鎖不適當			1						1
乘降未濟發車			1						1
その他		24 [5]	6 [1]	(2) 2	1		1	1	(2) 35 [6]
計	(1) 1 [5]	297 [36]	38 [2]	(1) 1 [3]	3 [1]	30 [5]	2	3	(8) 446 [52]

（B） 人

原因＼事故原因者	歩行者	乘客	その他の人
左側通行	1 [3]		
信號無視	1		
車道通行	3		
横斷歩道外横斷			
斜横斷	3 [5]		
車の直前直後横斷	15 [9]		5 [3]
踏切不注意	3 [1]		
飛乘	1	2 [1]	1
飛降		4	1
車体外乘車	1	1 [1]	3 [1]
路上作業			[4]
路上遊戲	[1]		(1) (1) 10 [3]
酩酊徘徊	[1]		1
必身欠陷	4	1	1 [2]
その他	1 [3]	[1]	8 [3]
計	33 [23]	8 [3]	(1) (1) 30 [16]

（C） 物件その他

放置物件	10 [1]
障害物不照明	
道路の欠陷	2 [5]
その他	1 [1]
計	23 [7]

（）○形は占領軍手係の事故を示し○形は從たる原因を表はす。
[] 形は邦人手係事故の從たる原因を示す。

備考

1. 電車とは、軌道車をいう。以下同じ。
2. 乘用自動車、貨物自動車には小型を含む。以下同し。
3. 乘客とは、車馬又は軌道車の乘客に限る。以下同じ。
4. 事故一件につき二以上の原因があるときは、主たる原因一を選び該当欄に記入し、從たる原因は、該当欄にその欄の外數として括弧（ ）して記入する。從つて本表の主たる原因の總計は、第三表の事故件數と一致する。
主たる原因とは、当該事故発生に対し最も重大な過失を指し、事故一件につき一原因とするものである。なお、当該事故当事者の過失が同程度か又は不明の場合は、被害の小なる側の主たる原因をとる。

交通事故統計表

第二表　交通事故損害調　（昭和　年　月分）

（様式第50號）　　半年報　NRP　　（昭和　年　月　日報告）

損害を受けたもの ＼ 損害を與えたもの		乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	物件	計
乘用自動車	死者										1	1
	傷者		1								13	14
	物的損害	(10,000) 5000	(8,000) 24500			2000					427000	(18,000) 458,500
貨物自動車	死者									2	14	16
	傷者	2	26		1					7	160	196
	物的損害	76000	1651134	2700	300				500	186000	212113	832747
乘合自動車	死者											
	傷者		4	2		1				4	31	42
	物的損害		108800			1800				13500	42916	67016
その他の自動車	死者											
	傷者		4								(1) (500) 1000	(1) 4 (15.00) 114.000
	物的損害		23100	96000								
荷車	死者		1									1
	傷者		5	1								6
	物的損害		86920		(1200)							(1200) 86920
自轉車	死者		10	2		1				1	1	15
	傷者		43	3	1					4		51
	物的損害	500	51210	5000	3000					14000	500	74210
その他の車馬	死者											
	傷者		3		(1)							(1) 3
	物的損害		102.50		(7000)					10000		(7.000) 112.050
	死者											
	傷者								3			3

その他の自動車	傷者		4								(1)	(1) 4
	物的損害		23100	96,000							(1500) 1,000	(15.00) 114,000
荷車	死者		1									1
	傷者		5	1								6
	物的損害		80,920		(1200)							(1200) 80,920
自轉車	死者		10	2		1				1	1	15
	傷者		43	3	1					4		51
	物的損害	500	51,210	5,000	3,000					14,000	500	74,210
その他の車馬	死者										—	
	傷者		3		(1)							(1) 3
	物的損害		102,050		(7,000)					10,000		(7,000) 112,050
電車	死者											
	傷者								3			3
	物的損害		58,100						1,100			59,200
汽車	死者											
	傷者											
	物的損害		38,100									38,100
歩行者	死者		17	4	2	1		1		6		31
	傷者	9	49	5	5			1	1	6		76
	物的損害		300									300
乘客	死者		8	2						1	1	12
	傷者	2	30	39						2	3	76
	物的損害			20,000							100	20,100
その他の人	死者		13	6	1	1	1			2		24
	傷者	(2) 3	43	22	(1)	2	1	1		3		(3) 75
	物的損害			2000								2000
物件	物的損害	(10,000) 44,480	304,800	22,000	120,000							(10,000) 491,280
計	死者		49	14	3	3	1	1		12	17	100
	傷者	(2) 16	208	72	(2) 7	3	1	2	4	26	(1) 207	(5) 546
	物的損害	(20,000) 125,980	(8,000) 2,442,914	141,700	(8,200) 123,300	3,800			6,100	1,539,000	(1500) 6,070,263	(37,700) 10,453,057

備考

1、汽車とは、軌道車以外の軌道車又は鉄道をいう。以下同じ。
2、損害を受けたものの損害と、損害を與えたものと交叉した枠に記入する。
3、車馬又は電車の原因によつてその乘客が死傷した場合は、それぞれ損害を受けたものの欄の車馬又は電車の枠に記入し、乘客の原因によつてその乘客が死傷した場合は、同欄の乘客の枠に記入する。
2、及び3、の例乘合自動車と貨物自動車とが衝突して、乘合自動車の乘客が5人死亡し、貨物自動車の助手が1人死亡した場合及び車体外乘車の電車の乘客2人墜落して死亡した場合の記入例は上に示した通りである。
4、物的損害は時價により金額を記入する。
5、歩行者、車馬及び電車等が崖下に墜落した等の場合の事故によるものは、損害を與えたものの欄の物件によるものとして記入する。

第三表　**交通事故件數調**（和昭　半年　報月分）　NRP

事故關係者 ＼ 事故關係者	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽
乘用自動車	(1) (1) 1	(2) (1) 6	(3)	(4)	(5) 1	(6) 1	(7)	(8)	(
貨物自動車		(14) 24	(15) 1	(16) 3	(17) 10	(18) 51	(19) 4	(20) 4	(
乘合自動車			(26) 2	(27) 1	(28) 1	(29) 6	(30)	(31)	(
その他の自動車				(37)	(38) (1)	(39) 1	(40) (1)	(41)	(
荷車					(47)	(48) 1	(49)	(50)	(
自轉車						(56) 1	(57)	(58)	(
その他の車馬							(64)	(65)	(
電車								(71) 2	(
汽車									
歩行者									
乘客									
その他の人									
物件									
事故件數	(9) 500								

備考　斜線を施した部分は汽車對汽車の事故は本統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故は

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 (d)/NARS NO.

調（和昭 半 年 報 月分） NRP 縣 （昭和 年 月 日報告）

その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	歩行者	乘客	その他の人	物件	事故關係者別計
(4)	(5) 1	(6) 1	(7)	(8)	(9) 1	(10) 9	(11) 2	(12) (2) 1	(13) (1) 9	(5) 31
(16) 3	(17) 10	(18) 51	(19) 4	(20) 4	(21) 10	(22) 55	(23) 6	(24) 41	(25) 147	(1) 362
(27) 1	(28) 1	(29) 6	(30)	(31)	(32) 1	(33) 9	(34) 8	(35) 13	(36) 12	54
(37)	(38) (1)	(39) 1	(40) (1)	(41)	(42)	(43) 6	(44)	(45) (1) 3	(46) (1) 4	(4) 18
	(47)	(48) 1	(49)	(50)	(51)	(52) 1	(53)	(54) 1	(55) 1	(1) 16
		(56) 1	(57)	(58)	(59) 6	(60)	(61)	(62) 3	(63) 2	72
			(64)	(65)	(66) 1	(67) 2	(68)	(69) 1	(70)	(1) 8
				(71) 2	(72)	(73) 2	(74)	(75)	(76)	8
						(77) 10	(78) 3	(79) 5	(80)	37
						(81)	(82)	(83)	(84)	94
							(85)	(86)	(87) 3	22
								(88)	(89) 1	(3) 69
										(2) 179

(9) 500

の事故は本統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故は考へられないからである。

第四表　車馬電車の交通事故發生時の狀況調（昭和　半　年　報　月分）

事故發生時の狀況 ＼ 車馬電車		時間 0|6	6|9	9|11	11|13	13|15	15|17	17|19	19|21	21|24	明暗 晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	天候 晴	曇	霧	雨
				(1)	(2)					(1)	(3)		(1)		(2)	0			(1)
自動車	乘用自動車		3	3	2	2	3	6			16	1		2	12	4		2
	貨物自動車	13	25	46	40	46	48	43	19	17	241	19	18	19	219	65	2	20
	乘合自動車		5	9	5	5	6	6	2		34	3		1	24	10		3
	その他の自動車		(1) 1	(1)	2	4	(1) 1	(1) 3		3	(4) 11	1		2	(3) 6	(1) 7		1
	小計	13	(1) 34	(2) 58	(2) 49	57	(1) 58	(1) 58	21	(1) 20	(7) 302	24	(1) 18	24	(5) 251	(2) 86	2	(1) 26
その他の車馬	荷車		1			2					3				3			
	自轉車		5	7	1	5	2	9	1		29			1	28	2		
	その他						2				2					2		
	小計		6	7	1	7	4	9	1		34			1	31	4		
電車			1				1	1			3					3		
計			(1) 41	(2) 65	(2) 50	64	(1) 63	(1) 68	22	(1) 20	(7) 339	24	(1) 18	25	(5) 282	(2) 93	2	(1) 26

備　考　　車馬又は電車の關係する事故件數（第三表の車馬及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄に記

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3.5(b), NLS No.

CORRECTION

THIS DOCUMENT

HAS BEEN REPHOTOGRAPHED

TO ASSURE LEGIBILITY

第四表　車馬電車の交通事故發生時の狀況調（昭和　半　年　報　月分）

事故發生時の狀況 ＼ 車馬電車		時間 0-6	6-9	9-11	11-13	13-15	15-17	17-19	19-21	21-24	明暗 晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	天候 晴	曇	霧	雨
自動車	乘用自動車		3	3	2	2	3	6			16	1		2	12	4		2
	貨物自動車	13	25	46	40	46	48	43	19	17	241	19	18	19	209	65	2	20
	乘合自動車		5	9	5	5	6	6	2		34	3		1	24	10		3
	その他の自動車		(1) 1	(1)	2	4	(1) 1	(1) 3		3	(4) 11	1		2	(3) 6	(1) 7		1
	小計	13	(1) 34	(2) 58	(2) 49	57	(1) 58	(1) 58	21	(1) 20	(7) 302	24	(1) 18	24	(5) 251	(2) 86	2	(1) 26
その他の車馬	荷車		1			2					3				3			
	自轉車		5	7	1	5	2	9	1		29			1	28	2		
	その他						2				2					2		
	小計		6	7	1	7	4	9	1		34			1	31	4		
電車			1				1	1			3					3		
計			(1) 41	(2) 65	(2) 50	64	(1) 63	(1) 68	22	(1) 20	(7) 339	24	(1) 18	25	(5) 282	(2) 93	2	(1) 26

備考　車馬又は電車の關係する事故件數（第三表の車馬及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄に記

(昭和 半 年 報 月分)　　NRP　　縣　　(昭和　年　月　日報告)

21－24	明暗 晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	天候 晴	曇	霧	雨	雪	場所 市街地 交通輻輳	市街地 交通閑散	非市街地 交通輻輳	非市街地 交通閑散	路面の狀況 乾燥 鋪裝	乾燥 非鋪裝	濕潤 鋪裝	濕潤 非鋪裝	泥濘	積雪	凍結 鋪裝	凍結 非鋪裝
(1)	(3)		(1)		(2)	(1)		(1)			(1)	(1)	(2)	(1)	(2)		(2)				
	16	1		2	12	4		2	1	1		6	12	5	10		3		1		
17	24	19	18	19	29	15	2	20	1	19	15	42	221	35	217	1	44	7	2		1
	34	3		1	24	10		3	1	2	3	7	26	5	28	2	3				
	(4)				(3)	(1)					(1)	(2)	(1)	(3)	(1)						
3	11	1		2	6	7		1			2	1	11	1	10		2	1			
(1)	(7)		(1)		(5)	(2)		(1)			(2)	(3)	(3)	(4)	(3)		(1)				
20	302	24	18	24	251	86	2	26	3	22	20	56	270	46	255	3	52	8	3		1
	3				3							1	2		3						
	29			1	28	2				2	5	4	19	5	24		1				
	2					2						1	1		1		1				
	34			1	31	4				2	5	6	22	5	28		2				
	3					3					1	2		2	1						
(1)	(7)		(1)		(5)	(2)		(1)			(2)	(3)	(3)	(4)	(3)		(1)				
20	339	24	18	25	282	93	2	26	3	24	26	64	292	53	284	3	54	8	3		1

車馬及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄に記入する。

交通事故統計表

第五表　交通取締處分調　（昭和　年　月分）

様式第53號　　半年報　NRP　　（昭和　年　月　日報告）

被處分者別 ＼ 處分別		自動車 處分事由 交通事故	取締法違反 道路交通	法違反 道路運送	給規則違反 石油製品配	法令違反 その他の	その他	小計	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	歩行者	その他の人	計
送致	罰金以上	216	2469	128	2	45	3	2863	152	2226	81	2		57	5381
	拘留									5					5
	科料	1	198	3				202	7	274	5			9	497
	小計	217	2667	131	2	45	3	3065	159	2505	86	2		66	5883
說諭		364	14731	344	16	803	113	16371	3434	27765	4123	1	74961	14758	141613
運轉免許の行政處分	取消	11	2					13							13
	停止 條件のない處分	52	1	2				55							55
	停止 停止條件附處分	19		1				20							20
	停止 解除條件附處分	4	1					5							5
	小計	86	4	3				93							93

備考　1. それぞれの件数を記入する。
2. 交通事故と法令違反とが競合するときは交通事故の欄に記入する。
3. 送致は送致摘要簿による送致見込件数を記入する。

別記様式(一)

交通事故による死傷者の職業別及性別調（昭和 年報分）　NRP 縣（昭和 年 月 日報告）

職業別 ＼ 死傷別・性別		輕傷			重傷			死亡			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
事務的職業	一般事務者	11	2	13	4		4	1		1	16	2	18
	經營者、管理人、支配人				1		1				1		1
	一般官公吏	9	3	12	4		4	2		2	15	3	18
	警察官吏	3		3							3		3
自由職業	教育者	1		1	1		1				2		2
	醫療、保健的職業	3	1	4							3	1	4
	その他		1	1		2	2					3	3
交通的職業	運輸的職業	76	1	77	30		30	14		14	120	1	121
	通信的職業	1		1							1		1
農林技術者 作業者		58	27	85	12	10	22	9	3	12	79	40	119
水産技術者 作業者		2		2	1		1				3		3
鑛山技術者 作業者		4		4	1		1				5		5
工業技術者 作業者		19		19	5		5	2		2	26		26
商的職業		26	2	28	7		7	2		2	35	2	37
家事使用人		3		3		1	1				3	1	4
その他の職業		31	8	39	11	2	13	12	1	13	54	11	65
無職者		(2) 35	41	(2) 76	(4) 18	10	(4) 28	20	17	37	(3) 73	68	(3) 141

職業	運輸的職業	76	1	77	30		30	14		14	120	1	121
交通的業	通信的職業	1		1							1		1
農林技術者 作業者		58	27	85	12	10	22	9	3	12	79	40	119
水産技術者 作業者		2		2	1		1				3		3
鑛山技術者 作業者		4		4	1		1				5		5
工業技術者 作業者		19		19	5		5	2		2	26		26
商的職業		26	2	28	7		7	2		2	35	2	37
家事使用人		3		3		1	1				3	1	4
その他の職業		31 (2)	8	39 (2)	11 (2)	2	13 (4)	12	1	13	54 (4)	11	65 (3)
無職者		35	41	76	18	10	28	20	17	37	73	68	141
學生	大學高等專門學校	2	2	4				1		1	3	2	5
生徒	中學校（新制）	5 (1)	1	6 (1)	5		5	5		5	15 (4)	1	16 (4)
生徒	小學校	24 (1)	8	32 (4)	7	4	11	8	3	11	39 (1)	15	54 (4)
外國人	進駐軍將兵												
外國人	進駐軍所屬者												
外國人	その他												
合計		313 (4)	97	410 (4)	107 (1)	29	136 (4)	76	24	100	496 (5)	150	646 (5)

（備考）

(1) 一人が二種以上の職業を有する場合は主たる職業に依る。主たる職業とは、従事する時間のより多い職業をいふ。

(2)「一般事務者」中には例へば建築會社の社員であつて建築の設計企畫又は監督等をする者であつても、その者がより多くの時間一般の事務に従事する場合等を含むものであり、之ら「工業技術者、作業者」としない。

(3)「一般官吏」中には、官公吏である醫療、保健、運輸、通信、農林、水産、鑛山、工業其の他の技官技師を含まない。之らの者は「醫療保健的職業」「運輸的職業」「通信的職業」「農林技術者作業者」「水産〃」「鑛山〃」「工業〃」等とする。但し之らの者がより多くの時間一般事務に專従する場合には「一般官公吏」とする。

(4)「教育者」中には官公吏である教育者を含む、この者を「一般官吏」としない。

(5)「自由職業」中の「其の他」には研究者、辨護士、計理士、茶道教授、作家、畫家等を含む。

(6)「商的職業」中には物品販賣作業者、店員、仲買人、集金人、接客者たる給仕人、社交ダンサー、理髪師を含む。

(7)「無職者」中には學生々徒を含まない。

(8) 輕傷とは全治一ケ月以下をいゝ重傷とはそれ以上を云ふ。

別記様式（二）

交通事故による死傷者の年令別及性別調（昭和 [illegible]年 [illegible]月分）NRP縣（昭和　年　月　日報告）

年令別	加害者別 / 性別 / 死傷別	乗用自動車		貨物自動車		乗合自動車		その他の自動車		荷車		自轉車		その他の車馬		電車		汽車		物件		計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
5才以下	輕傷	(1) 3		9	8	3	3	(1) 1		1									1	1		(2) 18	12
	重傷	(1) 1		6	2	2	1											1				(1) 10	3
	死亡			8	1	1	4		1		2			1				1				11	8
6才—10才	輕傷	1	1	11	6	1	3	(1) 2				1		1						6	3	(1) 23	13
	重傷	1		7	2									1			1	1	1	1		11	4
	死亡			4	6	2												1		1	1	8	7
11才—15才	輕傷			6			1	1		1										2		10	1
	重傷			2	2															7		9	2
	死亡			5		2				1												8	
16才—20才	輕傷	2		12	3	7	4											1		16	7	38	14
	重傷			1	1													1	1	2	2	4	4
	死亡			6		1	1					1						1		1	1	10	2
21才—25才	輕傷	3	1	7		3	5	1									1		1	(1) 34	4	(1) 48	12
	重傷			6		1												2		14	1	23	1
	死亡			1														2	1	4		7	1
26才—30才	輕傷			10	1	5	1	1								1			2	23	5	40	9
	重傷			8	1			1										1		3		13	1
	死亡			3														1		5		9	
31才—40	輕傷			17	4	9	4											2	3	29	4	57	15
	重傷			11	3													1		2	1	14	4

16才—20才	輕傷	2		12	3	7	4													1	1	2	2	4	4
	重傷			1	1																	1		1	1	10	2
	死亡			6		1	1						1						1		1	(1) 34	4	(1) 48	12
21才—25才	輕傷	3	1	7		3	5	1												2		12	1	23	1
	重傷			6		1														2	1	4		7	1
	死亡			1																	2	23	5	40	9
26才—30才	輕傷			10	1	5	1	1												1		3		13	1
	重傷			8	1			1												1		5		9	
	死亡			3																2	3	29	4	57	15
31才—40才	輕傷			17	4	9	4													1		2	1	14	4
	重傷			11	3															1				5	1
	死亡			4	1															2	1	15		35	8
41才—50才	輕傷	1	1	13	1	3	5				1									3		2	2	14	5
	重傷			9	1		2																	7	1
	死亡			6	1			1														8	2	29	4
51才—60才	輕傷	1		18	1	2	1															2		11	3
	重傷			5	1		2													1		1	1	5	2
	死亡			2		1	1															3		10	4
61才—70才	輕傷			5	3	2	1													1		1	2	2	3
	重傷			1																	1	2		4	1
	死亡						1	1														1	1	4	4
70才以上	輕傷			1	2	1																		1	
	重傷			1																				2	1
	死亡			1																1	1				
計	輕傷	(1) 11	3	109	29	36	28	(2) 6		3		1		1		1	1	5	9	(1) 139	26	(4) 312		96	
	重傷	(1) 22		57	13	3	5	1						1			2	10	2	34	8	(1) 108		30	
	死亡			44	9	7	7	2	1	1	2	1		1				10	2	14	3	76		24	

備考、輕傷とは全治一ケ月以下をいい重傷とはそれ以上を云ふ。

交通事故統計表

様式第49號

第一表 交通事故原因調（昭和　年　月分）

半年報 .MP

（A）車馬、電車　　（昭和　年　月　日報告）

原因＼事故原因者	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	計
制動裝置不完全	8[1]	23[1]	2	1		(1)9			(1)43[2]
操向裝置不完全	(1)4	12	2			(1)2			(1)(1)20
燈火不完全	1	(1)2				2			(1)5
牛馬狂奔					3[1]		3[1]		6[2]
滑走	1	2							3
その他の車馬電車の欠陷	1	3				(1)		1	(1)5
操縱未熟練	(4)(1)16[1]	(1)94[11]	5[1]	12[2]		9[2]		2[1]	(6)(1)138[18]
酩酊操縱	(1)9	(1)40[3]	2[1]	(1)1		7[1]			(3)59[5]
假睡操縱	(1)2	6							(1)8
操縱者の必身欠陷	1	7				1			9
ハンドルたずな等操作不履行	(2)1	7[1]			2	(1)5	1		(3)16[1]
最高速度制限違反	(8)(4)[1]	8[4]	[1]	[1]				1	(8)(4)9[7]
信號無視		2		1		2			5
左折不適當	1	7[3]	2	1					11[3]
右折不適當		6[2]	1	1		1			9[2]
右側通行	1[1]	6[2]	1	[1]		5[2]	1		14[6]
通行區分違反	(1)	(1)7				2	1		(2)10
斜橫斷		1				(1)3[1]			(1)4[1]
安全地帶通過、乘入						2			2
他車の直前直後橫斷	3	9[2]	1			(1)10[4]		1	(1)24[6]
轉回不適當	1	7[1]	(1)1	(1)					(2)9[1]
後退不適當	2	12[1]	2	(1)	[1]				(1)16[2]
併進	1	1				1[1]			3[1]
連續進行		(1)2	1			2[1]			(1)5[1]
追越不適當	(2)2[2]	(1)33[7]	4	(1)3[1]	1	7[2]	1		(3)(1)51[12]
踏切不注意	4	22[2]				5			31[2]
優先交通違反	(1)2	9[1]	2[1]			2[1]			(1)15[3]
廣路不注意	(1)1		1[1]						(1)2[1]
避讓不適當	(2)2[1]	12[5]	4		1	(1)2	1		(3)22[6]
徐行違反	(1)5[5]	46[9]		2		(1)		2	(2)55[14]

通行區分違反	(1)	(1) 7				2	1		(2) 10
斜横断		1				(1) 3 [1]			(1) 4 [1]
安全地帯通過、乗入						2			2
他車の直前直後横断	3	9 [2]	1			(1) 10 [4]		1	(1) 24 [6]
轉回不適當	1	7 [1]	(1) 1	(1)					(2) 9 [1]
後退不適當	2	12 [1]	2	(1)	[1]				(1) 16 [2]
併進	1	1				1 [1]			3 [1]
連續進行		(1) 2	1			2 [1]			(1) 5 [1]
追越不適當	(2) 2 [2]	(1) 33 [7]	4	(1) 3 [1]	1	7 [2]	1		(3)(1) 51 [12]
踏切不注意	4	22 [2]				5			3 [2]
優先交通違反	(1) 2	9 [1]	2 [1]			2 [1]			(1) 15 [3]
廣路不注意	(1) 1		1 [1]						(1) 2 [1]
避讓不適當	(2) 2 [1]	12 [5]	4		1	(1) 2	1		(5) 22 [6]
徐行違反	(1) 5 [5]	46 [9]		2		(1)		2	(2) 55 [14]
停車駐車不適當	(1) 3 [1]	22 [5]	3	(2) 2		[1]	1 [1]	[1]	(3) 31 [9]
合圖不適當	(1) 3 [1]	16 [3]	2 [1]		1				(1) 16 [5]
積載不適當		1 [1]		1					1 [1]
けん引不適當	(1) 1	1		1					(1) 3
扉の閉鎖不適當			1					2	3
乘降未濟發車			2						2
その他	(2) 1	35 [5]	7	(7) 2		9 [5]	1	(1) 2 [2]	(16) 57 [12]
計	(28)(8) 77 [14]	(6) 464 [68]	(1) 46 [1]	(12)(1) 25 [5]	8 [2]	(6)(2) 88 [21]	10 [2]	(1) 11 [4]	(54)(11) 732 [122]

(B) 人

原因 ＼ 事故原因者	歩行者	乘客	その他の人
左側通行	(2) 6 [5]		
信號無視	1		
車道通行	17 [5]		
横断歩道外横断	3 [1]		
斜横断	10 [1]		1
車の直前直後横断	(1)(4) 33 [5]		3 [5]
踏切不注意	14		1
飛乘		7 [2]	
飛降		2 [3]	1
車体外乘車	[1]	6	1
路上作業	[1]		2 [1]
路上遊戲	1		(1) 18 [8]
酩酊徘徊	(1) 2 [2]		2 [3]
必身欠陷	3 [2]		3
その他	5 [9]	2 [2]	7 [7]
計	(1)(2) 77 [57]	17 [7]	(1) 39 [24]

(C) 物件その他

放置物件	1
障害物不照明	(1) [3]
道路の欠陷	7 [5]
その他	2 [3]
計	(1) 10 [11]

( )○形は占領軍千係の事故を示し、○形は從たる原因を表はす

[ ]形は邦人千係事故の從たる原因を表はす

備考

1. 電車とは、軌道車をいう。以下同じ。
2. 乘用自動車、貨物自動車には小型を含む。以下同じ。
3. 乘客とは、車馬又は軌道車の乘客に限る。以下同じ。
4. 事故一件につき二以上の原因があるときは、主たる原因一を選び該当欄に記入し、從たる原因は、該当欄にその欄の外數として括弧( )して記入する。從つて本表の主たる原因の總計は、第三表の事故件數と一致する。
   主たる原因とは、当該事故発生に対し最も重大な過失を指し、事故一件につき一原因とするものである。なお、当該事故当事者の過失が同程度か又は不明の場合は、被害の小なる側の主たる原因をとる。

交通事故統計表

第二表　交通事故損害調　（昭和　年　月分）

（様式第50號）　　半年報　MP　　（昭和　年　月　日報告）

損害を受けたもの ＼ 損害を與えたもの		乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	物件	計
乘用自動車	死者										(1)	(1)
	傷者	(2) 3 ~~(4000)~~	5	2 ~~(17000)~~					3 (500)	4	(8) 8 (136.500)	(10) 25 (188.700)
	物的損害	39.700	16.850	21.500		1000	300		115500	1302000	357.250	1999.100
貨物自動車	死者		4							5	12	21
	傷者		36 ~~(7000)~~		2				2	14	48 ~~(1000)~~	102 ~~(1700)~~
	物的損害	16.850	568500	132323	12.500		300		24300	1477000	434.300	2.666073
乘合自動車	死者											
	傷者		5						7		8	20
	物的損害	5.000	244774	1.000					110.000	420000	565.000	1345774
その他の自動車	死者				1							1
	傷者		4		1		1			2		8
	物的損害		6100		1000					115.000		122.100
荷車	死者											
	傷者	(1) 2 (350)	(1) 8 ~~(1400)~~						2			(2) 12 (4500)
	物的損害		34400						500	5.000		37900
自轉車	死者		9	2				1	3	3	3	21
	傷者	(6) 18 ~~(7850)~~	89	11	(2) 5	4	4		8	5	1	(8) 145
	物的損害	6.900	114750	11.850	3500	200		700	3.750	27000	(2000) 1000	(9850) 169150
その他の車馬	死者						1					1
	傷者	3	6	2	1				1			13
	物的損害	45.000	47.500		400		5.000		1.800			99.700
	死者	2	4									

その他の自動車	傷者		4		1		1				2				8
	物的損害		6100		1000						115000				122.100
荷車	死者														
	傷者	(1) 2	(1) 8								2				(2) 12
	物的損害	(350)	(1100) 34400								500	5000			(4500) 37900
自転車	死者		9	2					1		3	3	3		21
	傷者	(6) 18	89	11	(2) 5	4	4				8	5	1		(8) 145
	物的損害	(9850) 6.900	114750	11850	3500	200			700		3750	27000	(2000) 1000		(9850) 169150
その他の車馬	死者						1								1
	傷者	3	6	2	1						1				13
	物的損害	45000	47500		400		5,000				1800				99700
電車	死者														
	傷者	2	4												6
	物的損害	65800	77165	6500			400		800				500		151.165
汽車	死者		4									2			6
	傷者	1	8			1									10
	物的損害		310000												310,000
歩行者	死者	(1) 2	16	4	(1) 1		1		2		3	15			(2) 44
	傷者	(10) 26	136	14	(4) 17	2	(1) 15		2		14	11			(15) 237
	物的損害		52500	500	(2300)										(2.800) 53100
乗客	死者		6		1							1	1		9
	傷者	(3) 1	15	67	3						4	3			(3) 73
	物的損害		71050												71050
その他の人	死者		17	5	1	1			1		1	4			30
	傷者	(1) 6	39	18	(1) 8	2	5		3		6	3			(2) 100
	物的損害		36530		500										37030
物件	物的損害	(10.600) 136500	(44.419) 1025123	71500	(17900) 237888	3500	1666		11000			30000	36000		(73157) 1542511
計	死者	(1) 2	56	11	(1) 4	1	2		4		7	30	(1) 16		(3) 133
	傷者	(23) 62	(1) 365	114	(7) 37	9	(1) 25		5		47	42	(5) 65		(40) 771
	物的損害	(71.950) 315.750	(47.119) 2750242	(17000) 765173	(20.700) 255788	4.766	7.000		12500		(500) 255.550	3376000	(137500) 1.394.650		(281.569) 8637053

備考

1、汽車とは、軌道車以外の軌道車又は鉄道をいう。以下同じ。
2、損害を受けたものの損害と、損害を與えたものと交叉した枠に記入する。
3、車馬又は電車の原因によつてその乗客が死傷した場合は、それぞれ損害を受けたものの欄の車馬又は電車の枠に記入し、乗客の原因によつてその乗客が死傷した場合は、同欄の乗客の枠に記入する。
2、及び3、の例乗合自動車と貨物自動車とが衝突して、乗合自動車の乗客が5人死亡し、貨物自動車の助手が1人死亡した場合及び車体外乗車の電車の乗客2人墜落して死亡した場合の記入例は上に示した通りである。
4、物的損害は時價により金額を記入する。
5、歩行者、車馬及び電車等が崖下に墜落した等の場合の事故によるものは、損害を與えたものの欄の物件によるものとして記入する。

第三表　**交通事故件數調**（和昭 半 年 報 月分）

事故關係者 ＼ 事故關係者	乘用自動車	貨物自動車	乘合自動車	その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽
乘用自動車	(1) (2) 9	(2) (2) 16	(3) (2) 2	(4) (1)	(5) (3) 2	(6) (9) 20	(7) (1) 1	(8) (2) 7	
貨物自動車		(14) (1) 26	(15) 17	(16) 5	(17) (1) 10	(18) 104	(19) 8	(20) 30	
乘合自動車			(26) 1	(27)	(28)	(29) 13	(30) 2	(31) 4	
その他の自動車				(37) 1	(38)	(39) (2) 7	(40) 2	(41)	
荷車					(47)	(48) 4	(49)	(50) 2	
自轉車						(56) 6	(57) 5	(58) 12	
その他の車馬							(64)	(65) 1	
電車								(71)	
汽車									
歩行者									
乘客									
その他の人									
物件									
事故件數							(62) 595		

備考　斜線を施した部分は汽車對汽車の事故は本統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故は

調（和昭 半年報 月分） MP 縣 （昭和 年 月 日報告）

その他の自動車	荷車	自轉車	その他の車馬	電車	汽車	歩行者	乘客	その他の人	物件	事故關係者別計
(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	
(1)	(3) 2	(9) 20	(1) 1	(2) 7	6	(11) 26	1	(2) 5	(8) 14	(43) 109
(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	
5	(1) 10	104	8	30	27	141	16	59	(2) 98	(7) 557
(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	
		13	2	4		18	8	8	9	(2) 82
(37)	(38)	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	
1		(2) 7	2		1	(6) 16	1	6	(5) 6	(14) 45
	(47)	(48)	(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	
		4		2		3		3	2	(4) 26
		(56)	(57)	(58)	(59)	(60)	(61)	(62)	(63)	
		6	5	12	7	(1) 15		5	4	(12) 202
			(64)	(65)	(66)	(67)	(68)	(69)	(70)	
				1		4		2	2	(1) 27
				(71)	(72)	(73)	(74)	(75)	(76)	
						18	4	5	3	(2) 86
						(77)	(78)	(79)	(80)	
						25	2	7		75
						(81)	(82)	(83)	(84)	
										(18) 266
							(85)	(86)	(87)	
									1	33
								(88)	(89)	
										(2) 100
										(16) 139

(162) 595

の事故は本統計上不必要なる事を示し、物件對物件の事故は考へられないからである。

第四表　車馬電車の交通事故發生時の狀況調（昭和　半年　報　月分）　M

事故發生時の車馬電車の狀況		時間 0|6	6|9	9|11	11|13	13|15	15|17	17|19	19|21	21|24	明暗 晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	天 晴	曇	霧	雨
自動車	乘用自動車		(2) 5	(1) 2	(3) 7	(5) 7	(5) 10	(4) 15	(3) 11	(5) 9	(2) 11	(2) 52	(1) 9	(1) 3	(5) 13	(25) 55	(1) 14		
	貨物自動車	(1) 19	48	63	(3) 70	(1) 67	(1) 76	67	37	17	(5) 391	28	17	(1) 28	(5) 329	(1) 83	1	
	乘合自動車		4	8	5	5	13	8	(1) 2	1	44		(1) 1	1	(1) 23	9		
	その他の自動車		(1) 1	5	(3) 6	(1) 4	(3) 4	(3) 6	2	(1)	(10) 25	(1) 3	(1)		(3) 18	(6) 8		
	小計	(1) 24	(3) 55	(1) 83	(9) 88	(7) 86	(9) 108	(7) 92	(4) 50	(6) 29	(36) 512	(2) 40	(3) 21	(6) 42	(34) 435	(8) 114	1	
その他の車馬	荷車			3			4			1	7		1		8			
	自轉車			(2) 13	20	12	(2) 16	(2) 12	4	3	(5) 75	2	(1) 3	8	(5) 65	(1) 14		
	その他			1	2	2	3	1		1	9			1	10			
	小計			(2) 17	22	14	(2) 23	(2) 13	4	5	(5) 91	2	(1) 4	9	(5) 83	(1) 14		
電車			1		1	2	2	4	(1) 1		10	(1)		1	(1) 7	1		
計		(1) 25	(3) 63	(3) 100	(9) 111	(7) 102	(11) 133	(9) 109	(5) 55	(6) 34	(41) 613	(3) 42	(4) 25	(6) 52	(40) 525	(9) 129	1	

備考　車馬又は電車の關係する事故件數（第三表の車馬及び電車の事故件數と同じ）をそれぞれの欄

（昭和　半年　報　月分）　MP　縣　（昭和　年　月　日報告）

21－24	明暗				天候					場所				路面の狀況							
	晝間	夜間明	夜間稍明	夜間暗	晴	曇	霧	雨	雪	市街地		非市街地		乾燥		濕潤		泥濘	積雪	凍結	
										交通輻輳	交通閑散	交通輻輳	交通閑散	鋪裝	非鋪裝	鋪裝	非鋪裝			鋪裝	非鋪裝
	(5)	(1)	(1)	(5)	(25)	(1)		(2)		(18)	(5)	(1)	(4)	(22)	(4)	(1)		(1)			
	11	52	9	3	13	55	14		7	1	40	26	3	8	51	17	4	5				
		(5)			(1)	(5)	(1)				(4)	(2)			(6)							
	17	391	28	17	28	329	83	1	47	4	202	168	29	65	248	150	43	19	4			
				(1)		(1)					(1)				(1)							
	1	44		1	1	23	9		3	1	24	12	3	7	26	12	4	3	1			
	(1)	(10)	(1)	(1)		(3)	(6)		(3)		(4)	(4)	(2)	(2)	(5)	(4)	(2)	(1)				
		25	3			18	8		2		11	9	2	6	10	13	2	3				
	(6)	(36)	(2)	(3)	(6)	(34)	(8)		(5)		(27)	(11)	(3)	(6)	(34)	(8)	(3)	(1)	(1)			
	29	512	40	21	42	435	114	1	59	6	277	215	37	86	335	192	53	30	5			
	1	7		1		8					2			6	1	7						
		(5)		(1)		(5)	(1)				(5)	(1)			(6)							
	3	75	2	3	8	65	14		9		47	26	5	10	47	30	7	3	1			
	1	9			1	10					5	3		2	4	6						
		(5)		(1)		(5)	(1)				(5)	(1)			(6)							
	5	91	2	4	9	83	14		9		54	29	5	18	52	43	7	3	1			
			(1)			(11)						(1)			(1)							
		10			1	7	1		3		8	3			5	2	3				1	
	(6)	(41)	(3)	(11)	(6)	(40)	(9)		(5)		(32)	(13)	(3)	(6)	(41)	(8)	(3)	(1)	(1)			
	34	613	42	25	52	525	129	1	71	6	339	247	42	104	392	237	63	33	6		1	

馬及び電車の事故件数と同じ）をそれぞれの欄に記入する。

交通事故統計表

第五表　交通取締處分調　（昭和　年　月分）

半年報　MP

様式第53號　　（昭和　年　月　日報告）

被處分者別 ＼ 處分別		自動車							荷車	自轉車	その他の車馬	電車	歩行者	その他の人	計
		處分事由													
		交通事故	取締法違反道路交通	法違反道路運送	給規則違反石油製品配	法令違反その他の	その他	小計							
送致	罰金以上	366	3184	68	11	73	27	3729	101	8824	417	11	48	287	13417
	拘留			1				1							1
	科料	1	264	5		30	1	301	181	1423	3		4	71	1983
	小計	367	3448	74	11	103	28	4031	282	10247	420	11	52	358	15401
說諭		175	21447	194	18	1452	206	23492	8255	96466	8343	2542	389730	32319	541141
運轉免許の行政處分	取消	4	1				2	7							7
	停止 條件のない處分	88		1				89							89
	停止 停止條件附處分	23						23							23
	停止 解除條件附處分	4						4							4
	小計	119	1	1			2	123							123

備考　1. それぞれの件数を記入する。
2. 交通事故と法令違反とが競合するときは交通事故の欄に記入する。
3. 送致は送致摘要簿による送致見込件数を記入する。

別記様式(一)

交通事故による死傷者の職業別及性別調（昭和半年前月分）　MP　縣（昭和　年　月　日報告）

職業別 ＼ 死傷別・性別		輕傷			重傷			死亡			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
事務的職業	一般事務者	(1) 25	(1) 6	(2) 31	6	3	9	3	1	4	(1) 34	(1) 10	(2) 44
	經營者、管理人、支配人	(1) 7		(1) 7	1		1				(1) 8		(1) 8
	一般官公吏	18		18	7		7	3		3	28		28
	警察官吏	3		3							3		3
自由職業	教育者	3	2	5							3	2	5
	醫療、保健的職業	2	2	4	4		4				6	2	8
	その他	8	1	9	2		2	3		3	13	1	14
交通的職業	運輸的職業	(2) 58	3	(2) 61	15		15	11		11	(2) 84	3	(2) 87
	通信的職業	2	1	3							2	1	3
農林技術者作業者		(2) 38	4	(2) 42	(1) 10	8	(1) 18	6	3	9	(3) 54	15	(3) 69
水產技術者作業者		1		1	1		1	1		1	3		3
鑛山技術者作業者		3	3	6							3	3	6
工業技術者作業者		(1) 30		(1) 30	5		5	11	1	12	(1) 46	1	(1) 47
商的職業		(2) 44	12	(2) 56	9	2	11	8	1	9	(2) 61	15	(2) 76
家事使用人		2	2	4	2	2	4				4	4	8
その他の職業		(2) 39	10	(2) 49	(1) 8	5	(1) 13	8	3	11	(3) 55	18	(3) 73
無職者		(4) 88	(5) 84	(9) 172	24	(2) 38	(2) 62	(1) 22	(1) 38	(2) 60	(5) 134	(8) 160	(13) 294

的業	通信的職業	2	1	3								2	1	3
	農林技術者作業者	(2) 38	4	(2) 42	(1) 10	8	(1) 18	6	3	9	(3) 54	15	(3) 69
	水産技術者作業者	1		1	1		1	1		1	3		3
	鑛山技術者作業者	3	3	6							3	3	6
	工業技術者作業者	(1) 30		(1) 30	5		5	11	1	12	(1) 46	1	(1) 47
	商的職業	(2) 44	12	(2) 56	9	2	11	8	1	9	(2) 61	15	(2) 76
	家事使用人	2	2	4	2	2	4				4	4	8
	その他の職業	(2) 39	10	(2) 49	(1) 8	5	(1) 13	8	3	11	(3) 55	18	(3) 73
	無職者	(4) 88	(5) 84	(9) 172	24	(3) 38	(2) 62	(1) 24	(1) 36	(2) 60	(5) 134	(8) 160	(13) 294
學生生徒	大學高等專門學校	3	2	5	1		1		1	1	4	3	7
	中學校（新制）	7	(1) 26	(1) 33	(2) 6	0	(2) 13	1		1	(2) 14	(1) 33	(3) 47
	小學校	(2) 38	8	(2) 46	14	(1) 5	(1) 31	4	4	8	(2) 57	(1) 17	(3) 74
外國人	進駐軍將兵	(4)		(4)	(4)		(4)	(1)		(1)	(4)		(4)
	進駐軍所屬者		(1)	(1)								(1)	(1)
	その他												
合計		(21) 419	(9) 166	(29) 585	(8) 116	(3) 70	(11) 186	(2) 81	(1) 52	(3) 133	(31) 616	(12) 288	(43) 904

（備考）

(1) 一人が二種以上の職業を有する場合は主たる職業に依る。主たる職業とは、從事する時間のより多い職業をいふ。

(2)「一般事務者」中には例へば建築會社の社員であつて建築の設計企畫又は監督等をする者であつても、その者がより多くの時間一般の事務に從事する場合等を含むものであり、之ら「工業技術者、作業者」としない。

(3)「一般官吏」中には、官公吏である醫療、保健、運輸、通信、農林、水産、鑛山、工業其の他の技官技師を含まない。之らの者は「醫療保健的職業」「運輸的職業」「通信的職業」「農林技術者作業者」「水産〃」「鑛山〃」「工業〃」等とする。但し之らの者がより多くの時間一般事務に專從する場合には「一般官公吏」とする。

(4)「敎育者」中には官公吏である敎育者を含む、この者を「一般官吏」としない。

(5)「自由職業」中の「其の他」には研究者、辨護士、計理士、茶道敎授、作家、畫家等を含む。

(6)「商的職業」中には物品販賣作業者、店員、仲買人、集金人、接客者たる給仕人、社交ダンサー、理髮師を含む。

(7)「無職者」中には學生々徒を含まない。

(8) 輕傷とは全治一ケ月以下をいゝ重傷とはそれ以上を云ふ。

別記様式（二）

交通事故による死傷者の年令別及性別調（昭和 半 年 報 月分）MP縣（昭和　年　月　日報告）

年令別	加害者別 / 性別 / 死傷別	乘用自動車 男	乘用自動車 女	貨物自動車 男	貨物自動車 女	乘合自動車 男	乘合自動車 女	その他の自動車 男	その他の自動車 女	荷車 男	荷車 女	自轉車 男	自轉車 女	その他の車馬 男	その他の車馬 女	電車 男	電車 女	汽車 男	汽車 女	物件 男	物件 女	計 男	計 女
5才以下	輕傷	4	(1) 2	20	13	2	3	(1) 2		3		1		1		2		2	3			(1) 37	(1) 21
	重傷			6	5	1		1			1	1						2	3			11	9
	死亡	1	1	6	7	2	3		1	1				1	3	2		2	1		1	14	17
6才—10才	輕傷	(4) 8	3	22	8	2		2				5	3			1		1	1	1		(4) 42	15
	重傷	2	(2) 1	10	3	1	1	2	1							1		1		1		18	(2) 6
	死亡			4	3	1	2												1			5	6
11才—15才	輕傷	(1) 3		12	4	3	5	5	(1)	1	1	1								3		(1) 28	(1) 10
	重傷	2		7	5					1								1	3		1	11	9
	死亡			1			1												1			1	2
16才—20才	輕傷	(1) 5		21	9	2	21	5		1						4	4	2		7	4	(1) 47	38
	重傷	(2) 1		5	9	1	3											2		1		(2) 10	12
	死亡			2		1		1								1		1				6	
21才—25才	輕傷	(1) 6	2	13	8	7	5	1	1			1		1				4	1	(1) 7	(3) 1	(2) 40	(3) 18
	重傷				5		1	1					1			1		2		(2) 2		(2) 6	7
	死亡			4	2													1		(1) 4	1	(1) 9	3
26才—30才	輕傷	(3) 3	1	13	6	8		(1) 1					1			5		2		(4) 4	(1) 2	(5) 36	(1) 10
	重傷	(2) 1		5		1		1	1			1		(1)	1		1	2				(3) 11	3
	死亡			4								1						2	1		1	7	2
31才—40	輕傷	(1) 2	2	31	7	13	3	3	2				2			8	2	4		9		(1) 70	18
	重傷	1		7	5	1		1								3	1	1		2		16	6

16才—20才	輕傷	5		21	9	2	21	5		1									2		1		(2) 10	12
	重傷	(2) 1		5	9	1	3										1		1				6	
	死亡			2		1		1																
21才—25才	輕傷	(1) 6	2	13	8	7	5	1	1			1		1					4	1	(1) 7	(3) 1	(2) 40	(3) 18
	重傷				5		1	1					1			1			2		(2) 2		(2) 6	7
	死亡			4	2														1		(1) 4	1	(1) 9	3
26才—30才	輕傷	(3) 3	1	13	6	8		(1) 1					1			5			2		(1) 4	2	(5) 36	(1) 10
	重傷	(2) 1		5		1		1	1		1			(1)	1		1		2				(3) 11	3
	死亡			4							1								2	1		1	7	2
31才—40才	輕傷	(1) 2	2	31	7	13	3	3	2				2			8	2		4		9		(1) 70	18
	重傷	1		7	5	1		1								3	1		1		2		16	6
	死亡			2															2		2	1	6	1
41才—50才	輕傷	(2) 2	1	(1) 33	7	9	3	2	1			2	1			4			1		4	2	(3) 57	15
	重傷	2	(1)	10	4	3		1				1									2	2	19	(1) 6
	死亡			5	2				(1)							1			2	1	2		10	(1) 3
51才—60才	輕傷	2		20	5	6		(1) 1					(1)		1	3	1		1		3	3	(1) 36	(1) 10
	重傷	(1)		3	3		2	1					1				1		1		2		(1) 7	7
	死亡			2				1								2			2	1	2	1	9	2
61才—70才	輕傷	(1) 2		9	1	2	(1) 1	1	(1)				3			2	1		1		1		(1) 18	(2) 6
	重傷		1	3		1	1								1	2					1		7	3
	死亡	(1)		4	5	1			1				1	1					3	2		1	(1) 9	10
70才以上	輕傷	1		3	2		1			1										1			5	4
	重傷	1	1	1	2	1																	3	3
	死亡			2	1											1			2	5			5	6
計	輕傷	(10) 38	(1) 11	(11) 197	70	54	(11) 42	(3) 23	(2) 4	6	1	10	(1) 10	2	1	29	8		18	6	(7) 39	(4) 12	(20) 116	(9) 165
	重傷	(5) 10	(3) 3	57	41	10	8	8	2	1	1	3	2	(1)	2	7	3		17	6	(7) 11	3	(8) 119	(3) 71
	死亡	(1) 1	1	36	29	5	6	2	(1) 2	1		1	1	1	3	7			11	13	(1) 10	6	(2) 81	(1) 52

備考、輕傷とは全治一ケ月以下をいい重傷とはそれ以上を云ふ。

HIROSHIMA PREFECTURAL
NATIONAL RURAL POLICE HEADQUARTERS

Office of Commander

November 22, 1949

SUBJECT: On Status of Traffic Safety Days carried out during the month of October.

To : Commanding Officer, Hq. of Chugoku Civil Affairs Region.

Regarding to the above subject, we hereby report you as mentioned hereunder.

1. Area enforced: All over the prefecture.

2. Date enforced: There is no fixed date. Every police station ee carried out it once a week respectively, according to to their own plan made in accordance with respective circumstances.

3. Status of enforcement:

(1) Education and propaganda;

With an aim to prevent confusion when the revised"Road Traffic Control Law" would be put in force, we developped education movement vigorously as much as we could, because the month of Oct. was the final month left for education and propaganda of the revised law prior to the enforcement.

Every police statioa also, calling out to schools, public offices and other organizations, within respective jurisdiction, used a sure card to make the general public understand fully the law by holding short course for education of the law and starting a prize-contest for posters and compositions.

Towards general family members, propaganda through radio news-paper and distribution of pamphlets was adopted to spread and deepen recognition of the law among them.

09.060

(2) Activities by "Traffic Self-Government Society";

Rositively cooperating with police side in traffic propaganda and enlightenment, every "Traffic Self-Government Society" within the jurisdiction held round-table conferences for studing the new law, and voluntarily got start in traffic control. On the traffic safety days, they engaged in traffic guidance for passengers at major points of the streets, and obtained good result.

4. Control:

We are making efforts to exterminate traffic violation by strictly regulating malignant violators at the streets as well as developping traffic sagety movement strongly toward the concerned circles, laying stress upom the education and propaganda of the revised law.

The results of the traffic control carried out during the month of Oct. are as shown in the attached papers.

5. Other references:

Prior to the enforcement of the revised law, all former traffic sign-boards and marks in addition to newly established ones were arranged according to the new law by repainting them that general public may not be perplexed.

T. Takesue

T. TAKESUE
Police Troop Commander
Hiroshima Prefecture

RESULT OF TRAFFIC REGULATION (OCTOBER 1949)

CLASSIFIED VIOLATION	CASES REGULATED			NO. OF VIOLATIONS			NO. OF CASES SENT TO PRO.			ADMONITION		
	NRP	MP	TOTAL	NRP	MP	TOTAL	NRP	MP	TOTAL	NRP	MP	TOTAL
Street Car:												
Hanging on the car-body		154	154		154	154					154	154
Jumping off and on the car		50	50		50	50					50	50
TOTAL		204	204		204	204					204	204
Automobile:												
Defying traffic signals	23	119	142	20	104	124		13	13	20	91	111
Driving without carrying license	98	137	235	25	53	78	19	41	60	6	12	18
Over speed	19	28	47	6	28	34		5	5	6	23	29
Non-light driving	9	65	74	9	65	74		16	16	9	49	58
Over loading	64	121	185	60	112	172	12	14	26	48	98	146
Violation of parking & stopping	31	100	131	31	100	131	1	1	2	30	99	129
Driving without carrying license	34	47	81	7	11	18	6	5	11	1	6	7
Defects in installation & equipments	158	85	243	88	49	137	13	3	16	75	46	121
Negligence of hand signals	26	30	56	14	30	44		2	2	14	28	42
Using without body inspection	1		1	1		1	1		1			

Violation of Slow Down	3	5	8	3	5	8				3	5	8
Reckless driving		1	1		1	1		1	1			
Riding on the outside of the body		2	2		2	2					2	2
TOTAL	466	740	1206	264	560	824	52	101	153	212	459	671
Bicycle & other vehicles:												
Non-light driving	291	737	1028	240	729	969	18	145	163	222	584	806
Leaving on road	61	79	140	51	79	130				51	79	130
Double riding	382	470	852	309	469	778	18	70	88	291	399	690
Cart without no driving seat	106	106	212	91	106	197		5	5	91	101	192
No horn	53	54	107	53	54	107	1	2	3	52	52	104
Driving in parallel	43	72	115	43	72	115				43	72	115
Negligence of driving with reins, etc.	56	43	99	13	43	56		2	2	13	41	54
Negligence of hand signals	26	430	456	26	430	456				26	430	456
No handel	13	120	133	13	120	133		11	11	13	189	202
Right side driving		28	28		28	28					28	28
Defying signals		3	3		3	3					3	3
Violation of parking & stopping		5	5		5	5					5	5
Over leading		14	14		13	13		1	1		12	12
Reckless driving		1	1		1	1		1	1			
TOTAL	1031	2162	3193	839	2152	2991	37	237	274	802	1915	2717

Pedestrians:												
Left side walking	1228	2036	3264	1203	2036	3239	1		1	1202	2036	3238
Walking on the drive way	100	765	865	105	765	765				105	765	765
Diagnol crossing	135	548	683		548	653					548	653
Parallel walking		115	115		115	115					115	115
Defying signals		18	18		18	18					18	18
TOTAL	1463	3482	4945	1308	3482	4790	1		1	1307	3482	4789
Others:												
Playing on the road	116	400	516	86	400	486				86	400	486
Articles left alone on the road	51	250	301	51	250	301		8	8	51	242	293
Illegal use of road	9	86	95	9	86	95		2	2	9	84	93
TOTAL	176	736	912	173	736	909		10	10	133	726	899
GRAND TOTAL	3136	7324	10460	2584	7134	9718	90	~~90~~ 348	~~348~~ 438	~~438~~ 2494	~~8494~~ 6786	~~6786~~ 9280

TOTTORI PREFECTURAL NRP HEADQUARTERS

DATE: 21 October 1949

SUBJECT: Traffic Safety Drive Program

TO: Chief,
Tottori Civil Affairs Team

Every possible means of publicity and enlightenment has been tried to prepare the people for the enforcement of the Revised Road Traffic Control Law, quite a revolution in the road traffic habit of the Japanese.

Now, with a view to smoothly enforce the Law a nation-wide traffic safety drive will be launched, starting on November 1, the day when the revised Law will come into effect, and we of Tottori Prefecture are going to carry out vigorously our share of the drive under attached program, which is our own.

Such being the case, I earnestly wish to request your valuable support and cooperation in the forthcoming drive.

Enji Adachi

Police Troops Commander

1 Inclosure: Particulars of Traffic Safety Drive Program

09.060

PARTICULARS OF TRAFFIC SAFETY DRIVE PROGRAM
(TOTTORI PREFECTURE)

1. Purpose:

To insure orderly road traffic and prevent traffic accidents which are sure to accompany the enforcement of the Revised Road Traffic Control Law unless the prople are made fully acquainted with the new system.

2. Area of the drive:

All over Tottori Prefecture.

3. Period:

a. Preparatory period: October 22 - October 31 (10 days)

b. Actual drive period: November 1 - Novermber 7 (7 days)

4. Sponsors, supporters, cooperators:

a. Sponsors:

Tottori Prefectural NRP Headquarters
All Municipal Police Stations in Tottori Prefecture

b. Supporters:

Tottori Civil Affairs Team
Tottori Prefectural Government

c. Cooperators:

Tottori Pref. Federation of Traffic Safety Associations
Yonago Railway Administration Department
JOLG
Tottori Press Club
Tottori Pref. Motor Vehicle Association
Public Information Section, Tottori Prefectural Office

5. Particulars of program:

a. Preparatory period:

(1) Steps to be taken by this Headquarters:

(a) Conference of chief officers of all police stations in charge of traffic affairs to consult about the

particulars of the drive.

(b) Requests to Tottori Civil Affairs Team, Prefectural Board of Education and other circles concerned to cooperate in carrying out the drive.

(c) To notify and ask all schools, various organizations concerned with road traffic, companies, factories, etc. for their active cooperation in the drive.

(d) Radio broadcasting:

JOLG will repeatedly broadcast the purport of the revised Road Traffic Control Law.

(e) Dropping of leaflets from airplanes:

Through the good will of Tottori Civil Affairs Team, Allied airplanes will drop all over the prefecture 100,000 copies of leaflets containing the purpose and major points of the amendment.

(2) Steps to be taken by each police:

(a) Education of policemen:

To reeducate all police officers so they can control road traffic under the new system with confidence.

(b) To ask the local traffic safety association, all men engaged in traffic business, schools, companies, factories, etc. for their active cooperation.

(c) Repainting of existing road signs:

All existing signs enjoining people to keep to the left will be repainted by the end of October and re-installed on November 1.

(d) Inspection of the arrangement of posters, standing sign-boards, etc. distributed by this Headquarters to insure their most effective display.

(e) Copies of leaflets containing the purpose and major points of the amendment will be circulated through all households.

(f) Intelligence test card for pupils:

"Intelligence test cards" together with materials of education in the subject of traffic safety have been

distributed through Prefectural Board of Education to all primary and lower secondary schools.
After completion of education, the schoolboys and girls will fill in the cards and submit them to school authorities.

b. Actual drive period:

(1) Steps to be taken by this Headquarters:

(a) Publicity and guidance through daily papers:

There will be put in the November 1st issues of the "Nihonkai," "Sanin Nichinichi," "Asahi" and "Mainichi" an advertisement that from that day on pedestrians and vehicles shall keep respectively to the right and the left under the Revised Road Traffic Control Law.

(b) Radio broadcasting:

Every day throughout the period JOLG will broadcast the purport of the revised law.

(c) Inspection and guidance on the street:

Three (3) inspection squads, each comprising 2 members of Traffic Section, this Headquarters, will inspect urban areas and give apt guidance to both pedestrians and vehicle-drivers under a close collaboration with the local police.

(d) Highway patrol:

Every day during the period patrolmen on auto-bicycles will be active on main roads in the prefecture.

(2) Steps to be taken by each police:

(a) Guidance on the street:

As many police officers as available will be mobilized to give proper and thorough guidance to both pedestrians and vehicle-drivers on the street during the period. Emphasis of guidance will vary according to the day as shown by the following table:-

Date:	Emphasis of Guidance:	Remarks:
Nov 1 - 3 (3 days)	Pedestrians (They shall keep to the right.)	Playing and working on the road. Leaving obstacles on the way.
Nov 4 - 5 (2 days)	Vehicles, including automobiles, bicycles, carts, wagons. (They shall keep to the left. Also about the manner of turning the corner to the right.)	Unlicensed driving. Reckless driving. Defective structure and equipment.
Nov 6 - 7 (2 days)	Allout guidance and control	

N.B. In giving guidance and controlling road traffic, police officers in charge will refrain from assuming overbearing attitude, while they are expected to deal strictly with violators of vicious nature.

(b) The local traffic self-government association and traffic safety association will be encouraged to go out on the street and render what assistance they can to the police officers in guiding the people.

(c) Lecture meeting, roundtable talk meeting:

Communities and schools which have not yet held lecture meetings, roundtable talk meetings or similar assemblies of the people in connection with the revised law will be advised to try to do so by all means to disseminate its purport among the population.

(d) Publicity and guidance over microphone at railway stations at the time of arrivals and departures of trains, at intervals of shows in theaters, and at important points of traffic.

(e) Publicity and guidance through lantern slides in theaters will be continued. (Films touching upon the new Law are expected to be shown there, too.)

6. Reports:

a. Each police is required to submit to this Headquarters a copy of the traffic safety drive program of its own

not later than October 30.

b. Also required are reports on what they have actually done by way of publicity and enlightenment and the number of violations during the period. They shall reach this Headquarters not later than November 12.

c. Traffic accidents during the period will be handled with special care and shall be reported to this Headquarters over phone without delay.

7. Official commendation:

Police officers and cooperating organizations and individuals who have shown superior activities during the period will be officially commended.

NATIONAL RURAL POLICE
OKAYAMA PREFECTURAL HEADQUARTERS
Okayama, Japan.

24 October 1949

SUBJECT : Occurrence report of a case of "train obstruction"

TO : Counter Intelligence Corps/ Okayama Area
HQ & HQ COY DET., 27th Infantry/ Okayama
HQ Chugoku Civil Affairs Region/ Kure

1. Time & date : 23 October 1949, at about 2050 hours

2. Place : At a point about 100 meters north of the Nishihonmachi Railway Crossing on the Igasa Railway Line, in Kasaokacho.

3. Synopsis : Train obstruction was attempted against the train arriving at 2050 hours at Kasaoka Depot when the train arrived at the abovementioned place, placing more than 10 stones of about 1" square and one "triangularly chopped wood" of about 60 cm long, on the railway track.

Upon receipt of a report from the engineer of the train, OYAMA Yoshio (40 yrs.) the place was immediately checked which revealed that the stones were crushed and one end of the chopped wood was broken, but no damage was caused to the train.

Police investigation of the circumstances is continuing.

for T. Namba
OISHI Kaoru
Okayama Prefectural
Police Troop Commander.

NATIONAL RURAL POLICE
OKAYAMA PREFECTURAL HEADQUARTERS
Okayama, Japan.

24 October 1949

SUBJECT : Occurrence report of traffic accident involving Allied Military personnel

TO : Counter Intelligence Corps/ Okayama Area
Chugoku Civil Affairs Region HQ/ Kure
HQ & HQ COY DET., 27th Infantry/ Okayama

1. Time & date : 22 October 1949, at about 0820 hours

2. Place : At the street corner just east side of the Kobashicho Police-box, at Kobashicho, Okayama City

3. Victimized person:
YOSHIOKA Nakataro,
54 yrs.,
of No.95 Kadota Tsurumakicho, Okayama City
Employee of the Okayama Medical University

4. Military personnel involving:
A soldier named "TINY" of Okayama CIC, who was driving a large-size truck.

5. Synopsis : The CIC's truck was travelling from the westerly direction, following a street-car which had just started at a car-stop at the abovementioned place and taking the right-hand side turn, when the truck came into head-on collision with the victim who was travelling by bicycle from the easterly direction taking a turn to the left (or southerly direction).

6. Extent of injury:
The victim was hit by the bumper at the upper thigh, receiving bruise which requirs about 10 day medical treatment.

7. Remarks : The victim had immediately been taken by the CIC's truck to the university hospital where he is under treatment.

for T. Namba
OISHI Kaoru
Okayama Prefectural
Police Troop Commander

NATIONAL RURAL POLICE
OKAYAMA PREFECTURAL HEADQUARTERS
Okayama, Japan.

25 October 1949

SUBJECT : Correct report of Traffic Accident involving Allied Military personnel

TO : Counter Intelligence Corps/ Okayama Area
Hq & Hq COY DET., 27th Infantry/ Okayama
Hq Chugoku Civil Affairs Region/ Kure

It was discovered that the occurrence report of traffic accident involving Allied Military personnel was erroneously made in some respects under the date of 24 October 1949, and the following is the correct report of the accident:-

1. Time & date : 22 October 1949, at about 0800 hours

2. Place : At the street corner, just east side of the Kobashicho Police-box, at Kobashicho, Okayama City

3. Victim : YOSHIOKA Nakataro,
54 years of age,
Employee of the Okayama Medical University,
Address : No.95 Tsurumakicho, Okayama City

4. Allied personnel involving:
A soldier named "TINY" who was driving a CIC's large size truck.

5. Synopsis : Immediately after a street-car had started from the car stop at the abovementioned place, the soldier driving a large zise CIC's truck who also stopped at the car stop and who came from the westerly direction was turning to the right to the road leading to the southerly direction.
The said YOSHIOKA who was riding a bicycle from east to west, threading his was through crowd struck the truck at its side.
YOSHIOKA ~~xxxxxxxx~~ apologized his carelessness to the soldier who told him that he would like to be notified if injured, and the two left the scene.

6. Extent of injury:
YOSHIOKA is feeling no difficulty of his walking.
He is slightly injured at the upper thigh of his left leg.

for N. Yamane
OISHI Isoru
Okayama Prefectural
Police Troop Commander

DECLASSIFIED - E.O. 12065 - SECTION 3 (b)(1), NARS MAY

HIROSHIMA PREFECTURAL
NATIONAL RURAL POLICE HEADQUARTERS
O
Office of Commander

21, October, 1949

SUBJECT: ENFORCEMENT OF THE SECOND NATIONAL TRAFFIC SAFETY WEEK DRIVE.

TO : Commanding Officer, Hq. of Hiroshima Civil Affairs Team.

Regarding the enforcement of the revised Road and Traffic Regulation Law which is to come into effect from Nov. 1, 1949, this office has been carrying out a publicity movement since Aug. 1, in order to see the new law be extensibely introduced.

With the purpose to make the law most effective at the beginning stage of the enforcement, a national traffic safety week has been decided to be carried out according to the principles as disclosed in the annexed papers.

We would like to ask for your kind guidance and good support in this drive.

T. Takesue
T. TAKESUE
Police Troop Commander
Hiroshima Prefecture

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3 (E), MAR 16

C O P Y

Oct. 18, 1949.

SUBJECT : The Second National Traffic Safety Week Drive.
To : Chiefs of District Police Stations.
" of Autonomous Police Stations.

It is understood that all police stations are engaged in the propagation and pubilicity of the revised Road and Traffic Regulation Law which is to come into effect from Nov. 1, 1949. The contents of the law have already been introduced to you by circular No. 1469, dated June 28, which shows a considerable amount of changes such as the usual system of left hand traffic changing to the facing traffic system, the new turning methods at junctions to be observed by vehicles and others.

In order to expect the smooth enforcement of this new law, instructions have been received from the N.R.P. headquarters stating that the period from Nov. 1 to Nov. 7, 1949, has been set so as to carry out a powerful nation-wide propaganda movement, for it had been thought necessary to conduct a thorough on-the-street discipline and guidance program related to the revised points at the very outset of the enforcement of this law.

In connection to this instruction, this office has set up a standard of principles as shown in the per attached papers so that the Traffic Safety Societies and other concerned organs may mutually keep close contact and so that police stations may establish their own plans to meet their actual conditions and thus obtain the most effective results possible.

Furtherly speaking, as the new facing traffic system and the small angle right turns of vehicles, etc., are so much unusal it is greatly desired that officials on occasions of giving on the spot guidance and controlling the traffic take heed not to act impatient and unkind towards the innocent violators, but needless to say this does not refer to the vicious cases that deserve strict actions.